SONY

パーソナルコンピューター

VGC-JSシリーズ
取扱説明書

SONY VGC-JSシリーズ VAIO

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書(本書)をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

セットアップガイド

設置・接続からバイオを使うための準備までを、イラストを見ながら知ることができます。

取扱説明書(本書)

バイオを使えるようにするための準備や、Windowsが起動していないときの操作、トラブルの解決法、サポート情報などを記載しています。

画面で見るマニュアル

VAIO 電子マニュアル

知りたいこと・わからないことを調べる

取扱説明書(本書)に記載している情報のほか、さらに詳しい情報もたくさん記載しています。検索機能を使って、すばやく便利に目的の操作やトラブルの解決法を見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。

VAIO ナビ

目的にあったソフトウェアを探す

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリックする。

重要なお知らせ

バイオを使ううえでご覧いただきたい情報です。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

本機をセットアップする
ソフトウェアを使ってみよう
インターネット／メール
セキュリティ
増設／バックアップ／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

パーソナルコンピューター

VGC-JSシリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご確認ください。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows Vista Home Premium搭載モデルにのみインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「テレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、テレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認するには、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

目次

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック！

本機をセットアップする

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック!

ソフトウェアを使ってみよう

インターネット/メール

セキュリティ

増設/バックアップ/リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／注意事項

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-2F1N

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS C 6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）について（FeliCa機能搭載モデル）

- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）を分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。

周囲で複数のリーダー /ライターをご使用の場合、1 m以上間隔をあけてお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品はエネルギースター規格に基づいて設計されており、次の省電力設定で出荷されています。

- 約15分操作をしないと自動的に液晶ディスプレイの電源を切る。
- 約30分操作をしないと自動的にスリープモードに移行する。

元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押してください。

ENERGY STAR and the ENERGY STAR mark are registered U.S. marks.

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。
（[サービスとサポート] − [お問い合わせ／アフターサービス] − [使用済みコンピュータの回収について] をクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載される機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがございます。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く

❸VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

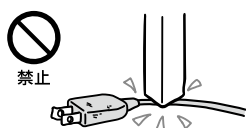
指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

分解禁止

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは「メモリを取り付ける／はずす」（59ページ）に従って注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、ネットワーク（LAN）ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

指示

交流100Vでお使いください。

海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに次のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。

特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間触れない

禁止

通電中のディスプレイ画面や通風孔に長時間皮膚が触れていると低温やけどの原因となることがあります。

通電中のディスプレイ画面や通風孔には長時間触れないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

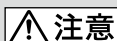
ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

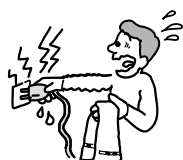
キーボードやマウスなどを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

オプティカルマウス底面の赤い光を直接見ない

マウス底面から発せられている赤い光を直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。

本体のランプの光を本体の上や横から直接見ない

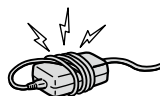
本体のランプから発せられている光を本体の上や横から直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

通風孔からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により通風孔から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに置いたり設置したりしないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

コンピュータを運搬するときは、側面を左右から持ち、安定した姿勢で運んでください。運搬中にバランスを崩すと落下により、けがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

禁止

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

注意

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

注意

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

製品の設置や移動時に机の上でずらさない

注意

コンピュータを設置したり、移動させるときに机の上でずらさないでください。机が傷つく原因となります。

液晶画面に衝撃を与えない

禁止

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

禁止

故障の原因となることがあります。

VAIOでできる

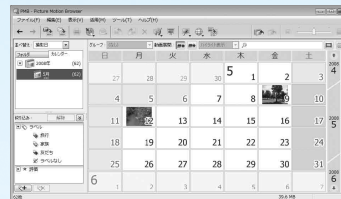
VAIOは、インターネットや
メール、ワープロや表計算など
基本的な機能に加え、
まるでAV機器のように、
手軽に映像や音楽を楽しめる、
充実のパソコンです。

撮影したコンテンツを楽しむ

写真
ビデオ

自分で撮影した写真やビデオを取り込んで管理したり、ショートムービーを作成してディスクに書き出すことができます。

写真やビデオを取り込む

「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを使います。
「写真・ビデオ」の「写真やビデオを取り込む」(47ページ)

ショートムービーを作成する

「VAIO Movie Story」ソフトウェアを使います。
「写真・ビデオ」の「ショートムービーを作成する」(49ページ)

3大機能

気分や雰囲気に応じて楽しむ

音楽

取り込んだ曲の中から、その日の気分や雰囲気、時間帯にあった曲を自動選曲して再生したり、曲の中で一番盛り上がる部分を再生したりして楽しめます。

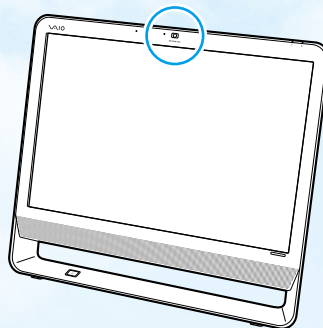
「VAIO MusicBox」ソフトウェアの「おまかせチャンネル再生」や「サビ再生」を使います。
「音楽」の「音楽を楽しむ」(45ページ)

カメラとマイクを使って楽しむ

コミュニケーション

131万画素の内蔵カメラのくっきりした画像で、テレビ電話などを楽しめます。

テレビ電話を楽しむには、「Skype」ソフトウェアを使います。
((スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Skype]－[Skype])

カメラとマイクが内蔵されています。

VAIOを使うための8つの準備

VAIOを使い始める前に、まず8つの準備をしましょう。
このページから続く説明に従って、作業を進めてください。

まずハードウェアの設定です。

準備1 付属品を確かめる

▶ 付属品の確認

18ページ

準備2 設置する

▶ 適切な設置場所とは？

20ページ

準備3 接続する

▶ ネットワーク（LAN）ケーブル、電源コードなどの接続

22ページ

準備4 電源を入れる

▶ 電源の入れかた、切りかた

26ページ

準備

ここからはソフトウェアの設定です。

準備5
Windowsを準備する
▶ ユーザー名やパスワードなどの設定

28ページ

ここからの設定にはインターネットへの接続が必要です。

準備6
基本設定を行う
▶ VAIOをはじめる前の準備

34ページ

準備7
カスタマー登録する
▶ カスタマー登録について

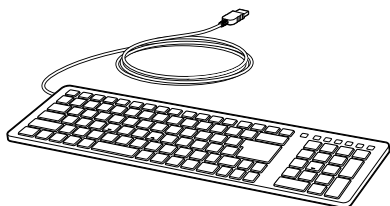
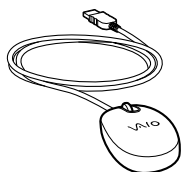
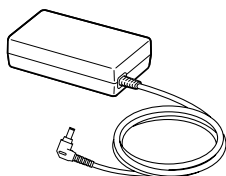
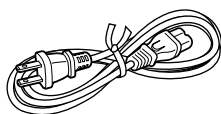
36ページ

準備8
重要情報を自動的に入手する

38ページ

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。
本機の主な仕様については別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

❑ **キーボード**

❑ **マウス**

❑ **ACアダプタ**

❑ **電源コード**

！ご注意
付属の電源コードは、AC100V用です。

❑ **すべり止めシート**

(FeliCaプラットフォームマーク)に合わせて貼るとカードが滑りにくく、簡単に置けるようになります。

ヒント
貼り付けかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[FeliCa]－[FeliCaカードを使う]をクリックする。)

説明書・その他

❑ **取扱説明書(本書)**

❑ **主な仕様と付属ソフトウェア**

❑ **セットアップガイド**

❑ **保証書**
修理の際に必要になります。

❑ **VAIOカルテ**
修理の際に必要になります。

❑ **ご注意・お知らせ**
本機に関する大切な情報を、記載した紙が付属している場合があります。必ずご覧ください。

❑ **その他のパンフレット類**
大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

❑ **Microsoft® Office Personal 2007*1 プレインストールパッケージ**
(「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ Microsoft® Office PowerPoint® 2007*2 プレインストールパッケージ

（「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office Professional 2007*3 プレインストールパッケージ

（「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属）
お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」（119ページ）をご覧ください。

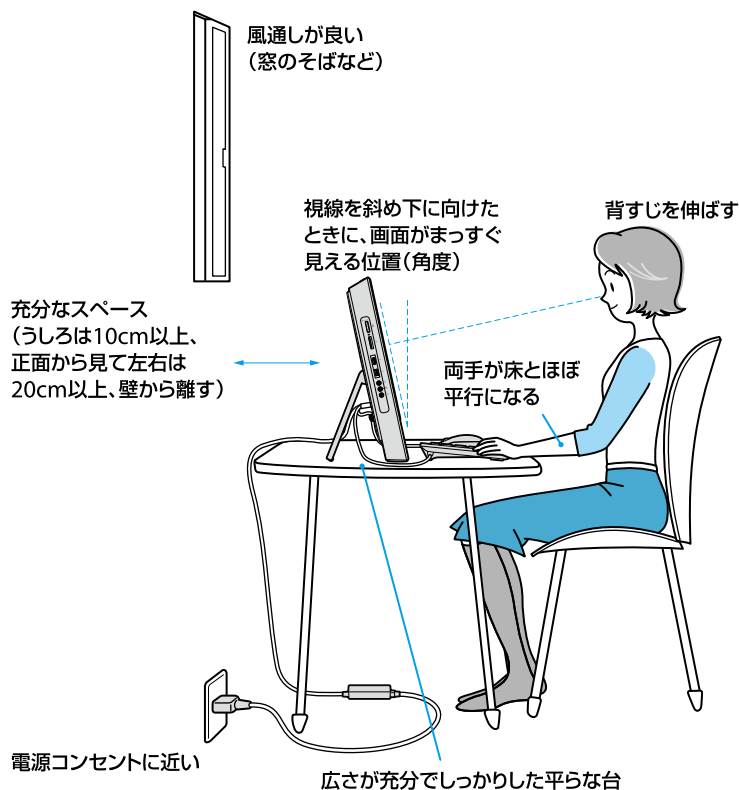
*1　この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。
*2　この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。
*3　この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、別紙の「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは、「リカバリする」（73ページ）をご覧ください。

設置する

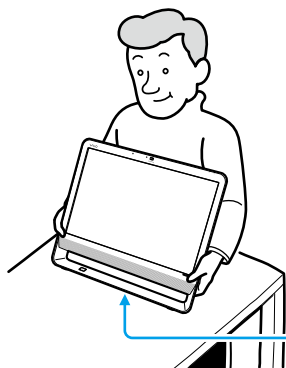
設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

設置時のご注意

次のことをお守りください。

本機を置くときは、
衝撃が加わらないように静かに置く。

!ご注意

- スタンド部を持たないでください。破損のおそれがあります。
- 液晶ディスプレイ部を持って移動しないでください。
- 本機を持ち上げるとき、液晶ディスプレイのパネル部分へ衝撃を加えないようにご注意ください。
- 持ち運ぶときは、衣類やベルトなどで液晶ディスプレイなどにキズがつかないようにご注意ください。
- 持ちかたによっては、転倒するおそれがありますので、本機を持つときには、イラストと同じように持って設置してください。

故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

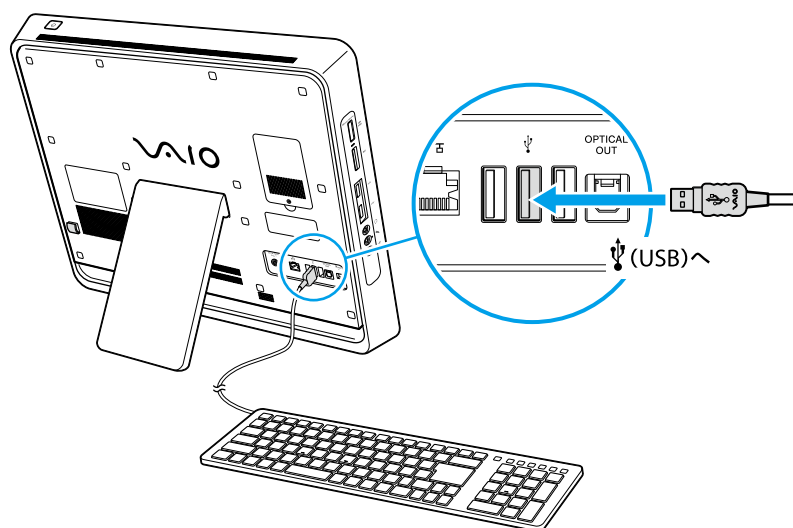
- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。移動するときは、接続ケーブルをすべて取りはずしてください。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。

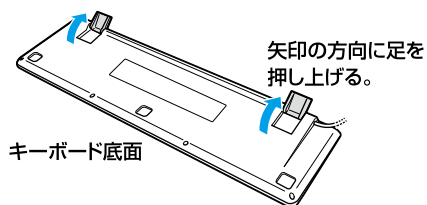
設置の際の安全上の注意事項もご覧ください（10ページ）。

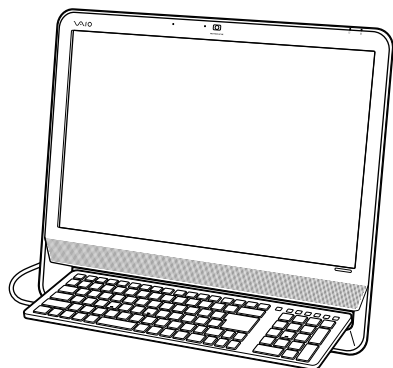
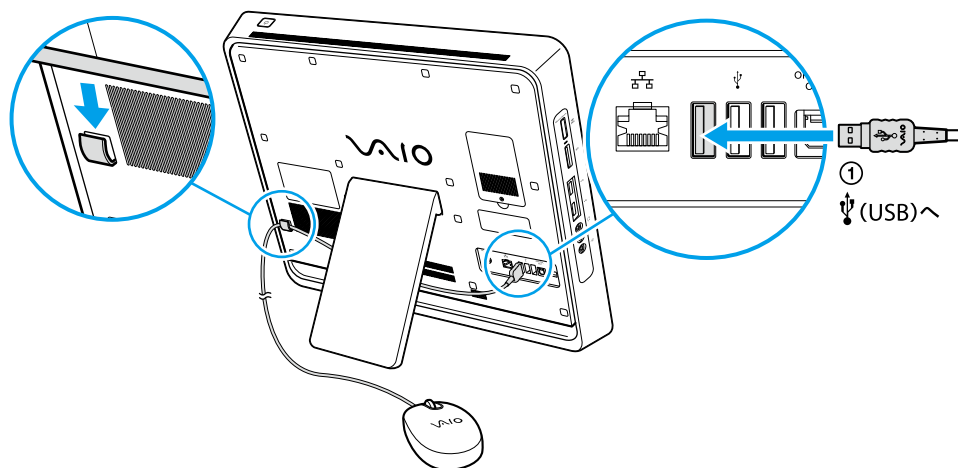
接続する

本機を利用するために、以下の接続が必要です。接続が終わったら、ディスプレイを見やすい角度に調整してください。

- キーボードを接続する（下記）
- マウスを接続する（23ページ）
- インターネット接続用機器につなぐ（24ページ）
- ACアダプタを接続する（25ページ）
- ディスプレイの角度を調整する（25ページ）

キーボードを接続する

キーボードの足を立てるには

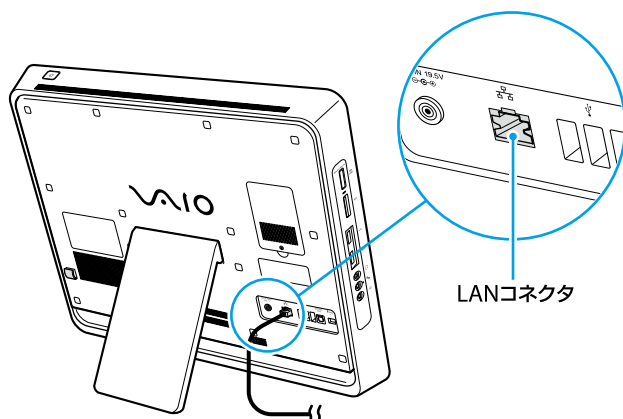
キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。

キーボードを使わないときは

キーボードを使わないときは、ディスプレイ下部のスペースに収納できます。キーボードの足を閉じてから収納してください。

マウスを接続する

インターネット接続用機器につなぐ

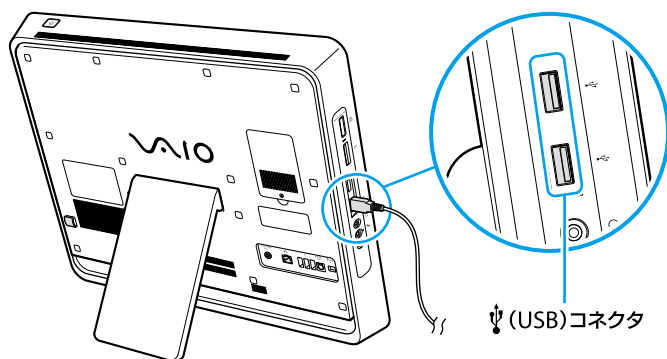
インターネットに接続するには、ADSL、FTTH(光)、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、ISDN回線を利用する方法があります。
インターネットについて詳しくは「インターネットを始める」(53ページ)をご覧ください。

!ご注意
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときはLANコネクタを使用します。

!ご注意
LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット(Ethernet)用などと表記されているものをご使用ください。

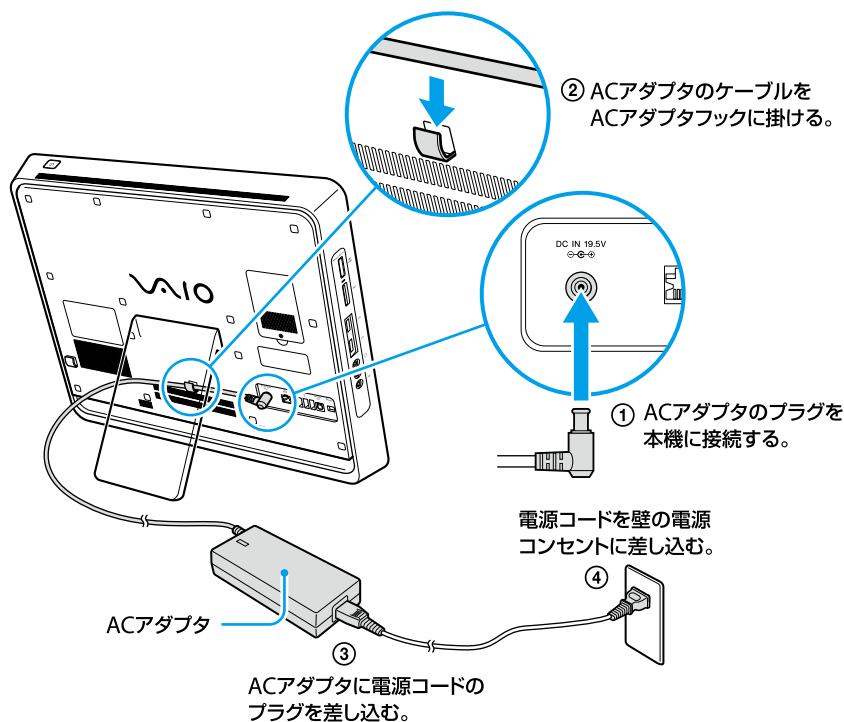
ISDN回線を利用するときは

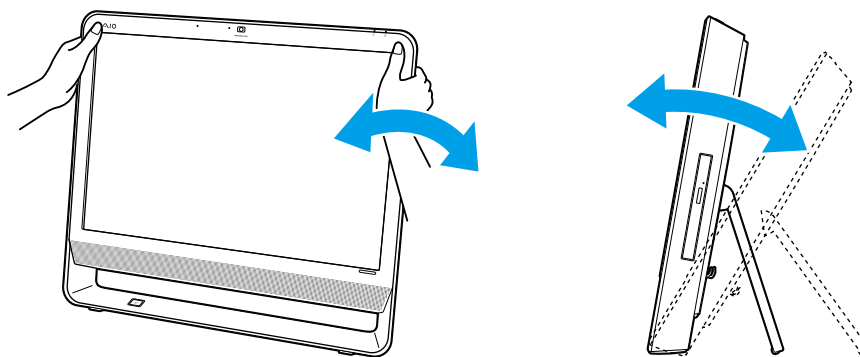
ISDN回線を利用するときはUSBコネクタを使用します。

ヒント
本機後面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

ACアダプタを接続する

本機にACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。

!ご注意

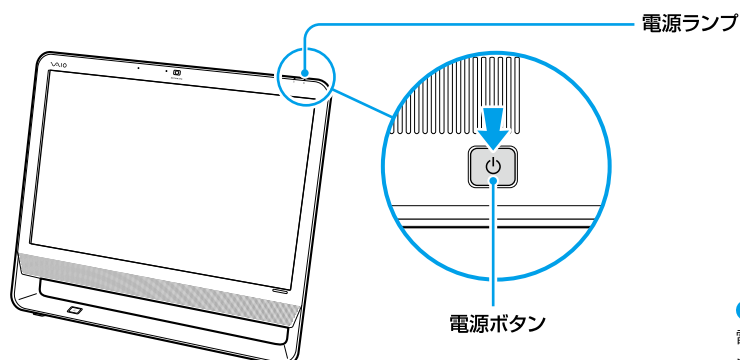
- 同じコンセントに複数の機器を同時につなかがないでください。
- 本機は国内専用です。交流100Vでお使いください。

ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの上部を持ち、画面の角度を調整します。

!ご注意

角度を調整する際は、本体に強い圧力をかけすぎないようにご注意ください。強い圧力をかけすぎると破損することがあります。

電源を入れる

本機の電源を入れます。

1 本機の電源ボタンを押し、電源ランプが点灯（緑色）したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

！ご注意

電源ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が入りません。電源ボタンは軽く押し、すぐに離してください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（28ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ～ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

ヒント

電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機の電源ランプがオレンジ色で点灯します。

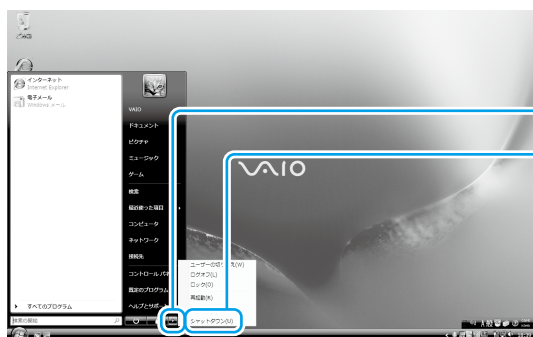
電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

!ご注意
電源を初めて入れたときは、電源を切らずにそのまま「準備5 Windowsを準備する」（28ページ）に進んでください。

1 （スタート）ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 ボタン－[シャットダウン]をクリックする。

① ここをクリックする。
② [シャットダウン]をクリックする。

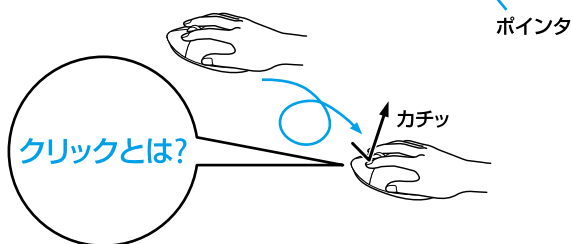
しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、電源ランプが消灯します。

!ご注意
本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、ボタンをクリックするとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリに保持したまま（ハイブリッドスリープ、お買い上げ時の設定）、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。
（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモードにする]をクリックする。）

Windowsを準備する

電源を初めて入れたら、まずWindowsの準備をしましょう。Windowsの準備が完了すると、付属のソフトウェアやいろいろな機能が使えるようになります。

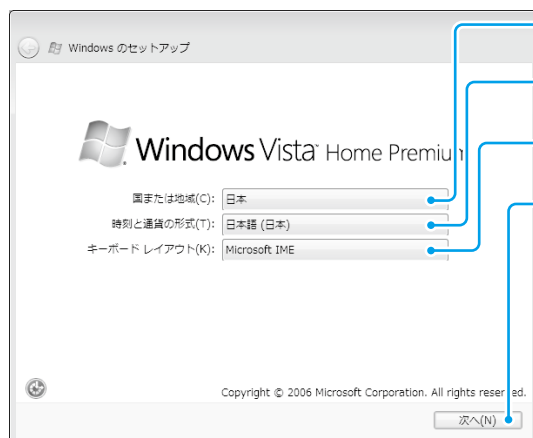
ヒント
Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。

ヒント
取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

マウスを動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

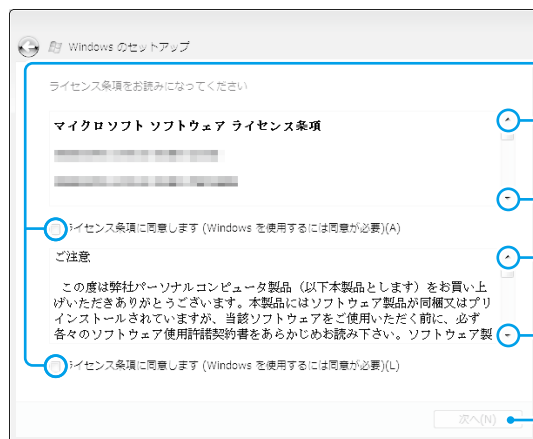
1 電源を入れる。

電源ボタンを押し(26ページ)、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。電源を切らずにそのままお待ちください。

!ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ～ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

① [国または地域]で[日本]が選択されていることを確認する。
② [時刻と通貨の形式]で[日本語(日本)]が選択されていることを確認する。
③ [キーボードレイアウト]で[Microsoft IME]が選択されていることを確認する。
④ [次へ]をクリックする。

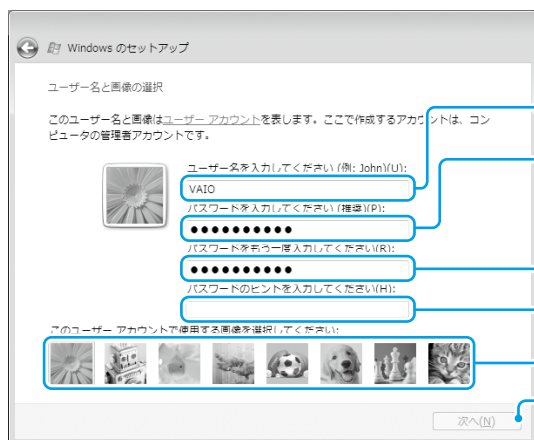
ヒント
ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

3 「ライセンス条項」の内容を確認する。

① 2か所の[ライセンス条項に同意します]の□をクリックして☑にする。

ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら[次へ]をクリックする。

!ご注意
どちらか一方でも□を☑にしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ヒント
画面左上のボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

本機をセットアップする
ソフトウェアを使ってみよう
インターネット／メール
セキュリティ
増設／バックアップ／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

4 ユーザーアカウントの設定をする。

メモ

!ご注意

- 入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。
- パスワードを入力したときは、パスワードのヒントを入力しないと[次へ]をクリックすることができません。

ヒント

- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
  パスワードの作成/変更/削除について、詳しくは「Windowsパスワードを設定する」(57ページ)をご覧ください。
- ユーザー名には、半角英数字を使用してください。

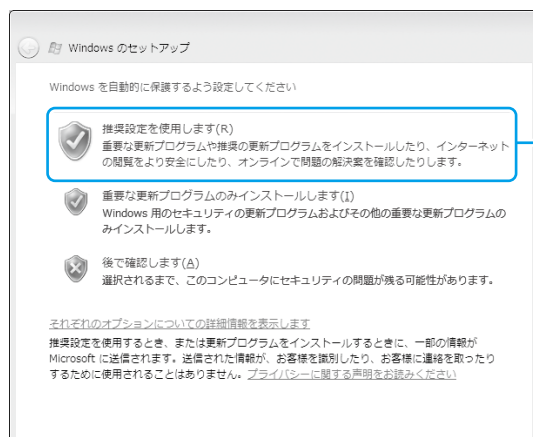
5 コンピュータの名前を確認する。

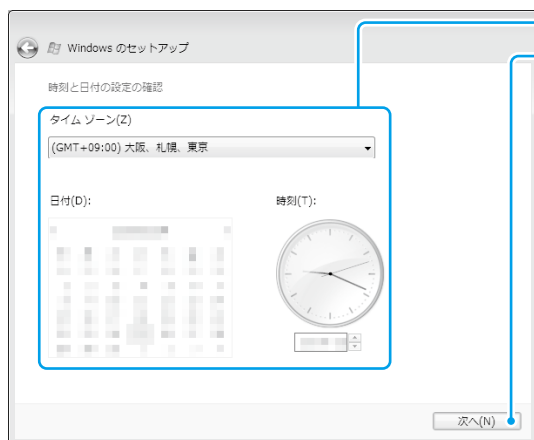
① 自動的に表示されますが、わかりやすい名前に変更することもできます。

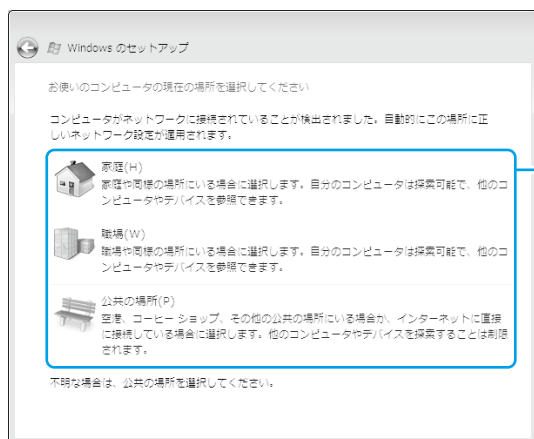
② デスクトップの背景にしたい画像をクリックする。クリックすると背景が変更されます。

③ [次へ]をクリックする。

ヒント
コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

6 コンピュータの保護の設定をする。

[推奨設定を使用します]をクリックする。

日付と時刻の設定を確認する。

① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。
② [次へ]をクリックする。

8 コンピュータを使用する場所を選択する。

コンピュータを使用する環境に近いものをクリックする。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

9 設定を完了する。

[いいえ、後で設定します]を選択して、[開始]をクリックする。

ヒント

- Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。
- [いいえ、後で設定します]の項目は、「VAIOをご使用になる前に」の内容をスクロールバーで下にスクロールすると現れます。

セットアップが完了すると、「ウェルカム センター」画面が表示されます。

ヒント

「ウェルカム センター」画面の内容はご使用いただいている機種によって異なることがあります。

これでWindowsが使えるようになりました。
引き続き、準備6 ～準備8を行ってください。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(27ページ)をご覧ください。

！ご注意

本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック！

基本設定を行う

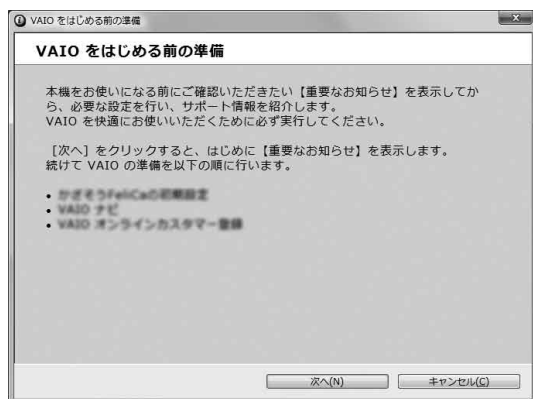
バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

ここから先の設定（セットアップ）は、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット／メール」の章（53ページ）をご覧ください。

VAIOをはじめる前の準備を行う

「VAIO をはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 デスクトップ画面上の[VAIO をはじめる前の準備]をダブルクリックする。

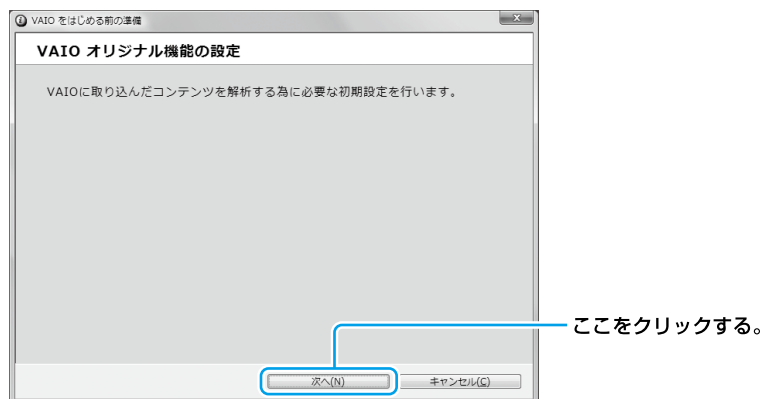
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO をはじめる前の準備」画面が表示されます。

ヒント
「VAIO をはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

「VAIO オリジナル機能の設定」が表示される場合は、次の「VAIO オリジナル機能の設定を行う」の項目をご覧ください。
最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

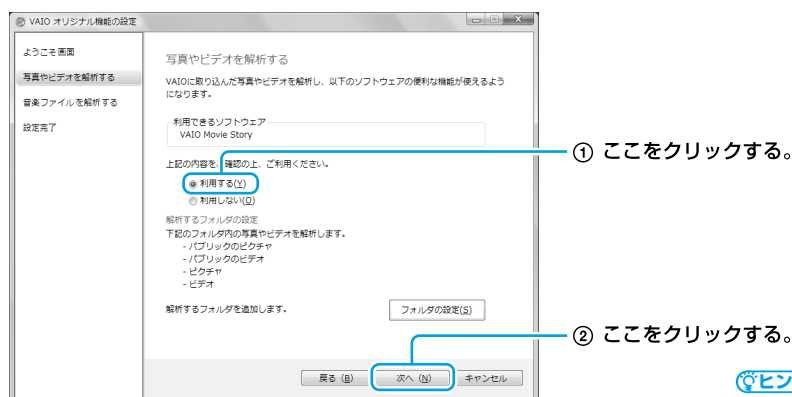
VAIO オリジナル機能の設定を行う

バイオ内のコンテンツ(取り込んだ音楽、写真やビデオなど)を解析するためにVAIO オリジナル機能の設定を行ってください。
VAIO オリジナル機能の設定は「VAIO をはじめる前の準備」から設定します。
「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、以下の手順に従って設定を行ってください。

1 [次へ]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定へようこそ」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
設定画面が表示されます。

3 表示される各画面で内容を確認し、[利用する]を選択して[次へ]をクリックする。

ヒント
設定する項目は、お使いのモデルによって異なります。

4 [終了]をクリックする。

VAIO オリジナル機能の設定が完了します。

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様に「VAIOカスタマー登録」をお願いしています。
ご登録いただくと、フリーダイヤルによる電話でのお問い合わせなど、より充実したサービスサポートを受けることができます。「My Sony ID」が発行（「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加）され、「My Sony ID」を使用したご登録者限定メニューがご利用いただけます。
なお、VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」（105ページ）までご連絡ください。

ヒント

My Sony IDはソニー共通体系のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

！ご注意

- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

VAIOカスタマー登録での個人情報取り扱いについて

ソニーでは、カスタマー登録時にご提供いただくお客様の個人情報について、適切な取り扱いに取り組んでおります。
個人情報の取り扱いについて詳しくは、下記をご参照ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/agreement.html

VAIOカスタマー登録の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供
② VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供
③ 特典情報やキャンペーンなど、バイオに関するさまざまな情報を提供

❑ ご利用いただけるサポート

- **フリーダイヤルによる電話でのお問い合わせ**
  使いかたに関するお問い合わせ窓口（VAIOカスタマーリンク使い方相談窓口）がフリーダイヤルでご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービス**
  ホームページから電話サポートを予約いただくと、ご指定の日時にオペレーターからお電話を差し上げます。
  24時間ご利用可能です。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら操作方法などをご案内します。
- **テクニカルWebサポート**
  バイオに関する使いかたなどの質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。
- **VAIO Hot Street（情報交換サイト）**
  お客様同士でバイオに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

❑ ご利用いただける有料サービス

- VAIO延長保証サービス
- VAIO Overseas Service（海外修理サービス）
- VAIOソフトウェアセレクション（ソフトウェア・ダウンロード販売サイト）

※2008年6月現在
ご利用いただけるサポートや有料サービスについて詳しくは、101ページ以降をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

!ご注意

- VAIO オンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)で行うことができます。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

!ご注意

機種によって「VAIO オンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。この場合は「MyVAIO」(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO)の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

!ご注意

- 表示された番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートをご利用になるには、「My Sony ID」が必要になります。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

重要情報を自動的に入手する

「VAIO Update」とは

「VAIO Update」とは、ソニーが提供するお客様への「重要なお知らせ」やご使用のバイオを最新の状態にする「アップデートプログラム」などの重要な情報を自動的にお知らせするソフトウェアです。
情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせしますので、必ずご確認ください。

ヒント

- VAIO Updateは、無料でご利用いただけます。(インターネットの通信費はお客様負担となります。)
- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。

- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しませんので安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

「VAIO Update」を設定する

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO Update 4]ー[VAIO Updateの設定]をクリックする。

「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

ヒント

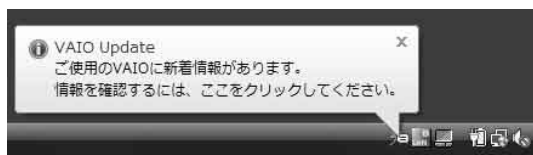
「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックしても表示されます。

2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読み、「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

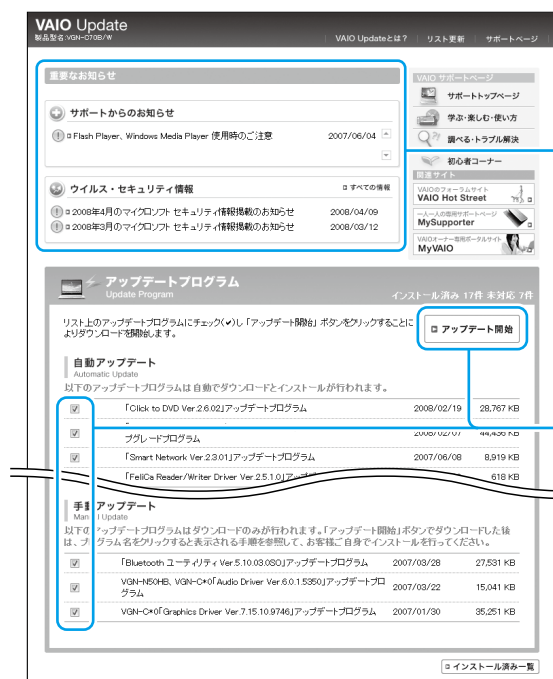
ヒント

「重要な新着情報のみ通知する」のチェックボックスにチェックをすると、セキュリティ対策など、より重要度の高いお知らせやアップデートプログラムの新着情報のみバルーンでお知らせします。

「VAIO Update」を利用する

1　情報が更新されると、タスクバーの通知領域にお知らせのバルーンが表示されるので、バルーン画面をクリックする。

「VAIO Update画面」が表示されます。

ヒント
実際の画面とは異なる場合があります。

2　「重要なお知らせ」の確認とアップデートを行う。

重要なお知らせを確認する
セキュリティ関連情報など、ソニーがお客様に提供する「重要なお知らせ」を確認できます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

アップデートを行う（バイオを最新の状態にする）
[アップデート開始]ボタンをクリックする
チェックボックスにチェックがついているプログラムのアップデートが開始されます。

アップデートプログラムには、自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。
自動アップデート：ダウンロードとインストールを自動で行います。
手動アップデート：ダウンロードまで自動で行います。ダウンロード後はプログラムの件名をクリックし表示される内容に従ってインストールしてください。

ヒント
- アップデートを行うには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。
- あとでアップデートしたいプログラムはチェックボックスのチェックをはずしてください。
- セキュリティ対策など重要度の高いアップデートプログラムの場合、プログラム名の横に のアイコンが表示されます。これらのプログラムについては、アップデートすることを強くおすすめします。
- 実際の画面とは異なる場合があります。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❏ リカバリディスクを作成してください。

- 「リカバリディスクを作成する」(63ページ)をご覧ください。

❏ 電子メールをやりとりしたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。(41ページ)
  ([インターネット]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。)

❏ Windowsの基本操作を知りたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。(41ページ)
  ([できるWindows for VAIO]をクリックする。)
- VAIOカスタマーリンクのホームページ(101ページ)をご覧ください。

Windows Updateについて

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック！

画面で見るマニュアルの使いかた

「VAIO 電子マニュアル」には、本書よりも詳しい情報を紹介しています。やりたいことがあるけれど、何をどうすればいいのかわからない場合や、トラブルの解決方法を調べる場合などは、「VAIO 電子マニュアル」をご利用ください。
「VAIO 電子マニュアル」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO 電子マニュアルの使いかた

VAIO 電子マニュアルを表示する

1　（スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

VAIO 電子マニュアルの基本操作

1　**大項目を選ぶ**
「パソコン本体の使いかた」や「Q&A 集」など、調べたい項目を選びます。

2　**目的の情報を選ぶ**
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。
さらに表示される一覧から必要な情報を選びます。

3　**表示された説明を読む**
画面の右側に情報が表示されます。

ヒント
VAIO 電子マニュアルに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

ソフトウェアの探しかた

「VAIO ナビ」を使うと、使用目的にあった項目をクリックするだけで、最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。
やりたいことが決まっているけれど、どのソフトウェアを起動すればいいかわからないときなどに便利です。
「VAIO ナビ」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO ナビの使いかた

VAIO ナビを表示する

1 **（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO ナビ］をクリックする。**

「VAIO ナビ」が表示されます。

VAIO ナビの基本操作

ヒント
VAIO ナビに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

音楽

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音して、自分だけの音楽ライブラリを作成できます。

!ご注意
操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

1 「SonicStage」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[SonicStage]－[SonicStage]をクリックします。

2 音楽CDをドライブに入れる。

ヒント
「SonicStage」ソフトウェアではじめて音楽CDを利用するときは、ドライブのチェックや、自動録音に関する設定を行います。表示される画面の指示に従って操作してください。

3 取り込みを開始する。

① 音楽を取り込む にポインタをあわせて、[CD を録音する]を選択する。

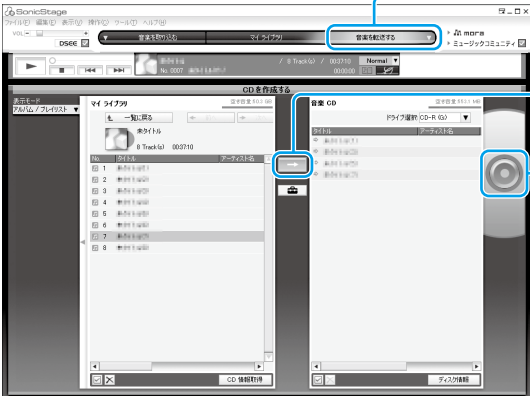
② をクリックする。

音楽の取り込みがはじまり、「マイ ライブラリ」に保存されます。

ヒント
取り込みたくない曲がある場合は、をクリックする前に、CDトラック番号の を クリックして にします。

音楽CDを作る

曲やアルバムを選んで、お好みの音楽CDを作成できます。

！ご注意

操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

あらかじめ、ブランクメディア（データの書き込まれていないCD-R、CD-RW）をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」（136ページ）をご覧ください。

1 「SonicStage」ソフトウェアを起動する。

（スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[SonicStage]ー[SonicStage]をクリックします。

2 音楽CDを作成する。

3 「書き込み設定」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

書き込みが始まります。

音楽を楽しむ

取り込んだ曲の中から、その日の気分や雰囲気、時間帯にあった曲を自動選曲して再生します。

1 「VAIO MusicBox」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO MusicBox]をクリックします。

ヒント
初回起動時に「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(35ページ)

2 再生する。

雰囲気や気分にあわせた曲が再生されます。

他の再生方法で楽しむには

！ご注意
曲によっては、サビ情報を取得できない場合があります。

音楽をもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

写真・ビデオ

やってみよう！

撮影した写真やビデオをVAIOに取り込もう

撮影した写真やビデオをVAIOに取り込んで管理しましょう。取り込んだ写真やビデオは、カレンダー形式で楽しむことができます。

STEP 1
PMB(Picture Motion Browser)で
画像を取り込む
⇨ 47ページ

STEP 2
PMB(Picture Motion Browser)で
写真やビデオを見る
⇨ 48ページ

ショートムービーを作成してBD・DVDを作ろう

撮影した写真やビデオからショートムービーを作成してみましょう。作成したショートムービーは、BDやDVDに書き出すことができます。

＊ BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデルのみです。

STEP 1
PMB(Picture Motion Browser)で
画像を取り込む
⇨ 47ページ

STEP 2
VAIO Movie Story で
ショートムービーを作成する
⇨ 49ページ

STEP 3
VAIO Content Exporter で
ショートムービーを書き出す
⇨ 50ページ

撮影した写真やビデオから、こだわりのBD・DVDを作ろう

撮影した写真やビデオからこだわりのBDやDVDを作成してみましょう。

＊ BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデルのみです。

STEP 1
PMB(Picture Motion Browser)で
画像を取り込む
⇨ 47ページ

STEP 2
Click to Disc Editor で
オリジナルBD・DVDを作成する
⇨ 51ページ

写真やビデオを取り込む

撮影した写真やビデオをVAIOに取り込みます。

1 デジタルスチルカメラやハンディカムの電源を入れ、本機の(USB)コネクタやi.LINKコネクタに接続する。

ヒント

- 接続方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 取り込み画面が表示された場合は、手順5に進んでください。

2 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Sony Picture Utility]ー[PMB - Picture Motion Browser]をクリックします。

3 [ファイル]メニューー[画像の取り込み]をクリックする。

4 取り込む対象を選択する。

5 画像を取り込む。

取り込み画面が表示されます。
画面の指示に従って取り込んでください。

ヒント

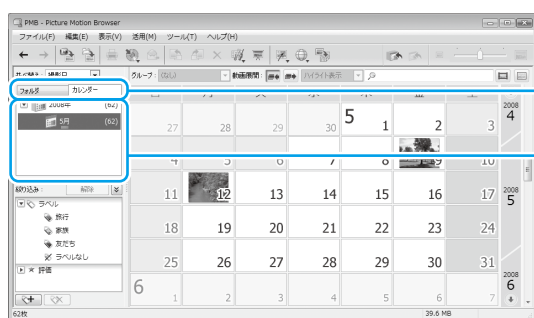
接続するハンディカムの種類によって、取り込み方法が異なります。
詳しくは、「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

写真やビデオを見る

取り込んだ写真やビデオを表示して楽しみます。

1 「PMB（Picture Motion Browser）」ソフトウェアを起動する。

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］－［Sony Picture Utility］－［PMB - Picture Motion Browser］をクリックします。

2 見たい画像を選択する。

① タブをクリックして、表示方法を切り替える。

② フォルダや年月アイコンをクリックして、見たい画像を表示する。

サムネイルが表示されます。

ヒント
画像を大きく表示して見るには、サムネイルをダブルクリックします。

写真の向きを変えたいときは

写真を選択して、 や （回転アイコン）をクリックしてください。

ショートムービーを作成する

取り込んだ写真やビデオから、ショートムービーを作成できます。

1 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Sony Picture Utility]ー[PMB - Picture Motion Browser]をクリックします。

2 ショートムービーに使用する画像を選択し、「VAIO Movie Story」ソフトウェアを起動する。

画像を選択し、 (外部プログラムから開く)ー[VAIO Movie Story]をクリックします。

3 ショートムービーを作成する。

4 書き出す。

[書き出し]をクリックして、「VAIO Content Exporter」ソフトウェアを起動します。
書き出しについては、次のページの手順3をご覧ください。

写真やビデオを書き出す

取り込んだ写真やビデオ、「VAIO Movie Story」ソフトウェアで作成したショートムービーをディスクに書き出すことができます。

ヒント
「ショートムービーを作成する」の手順4で、「VAIO Content Exporter」ソフトウェアを起動している場合は、手順3に進んでください。

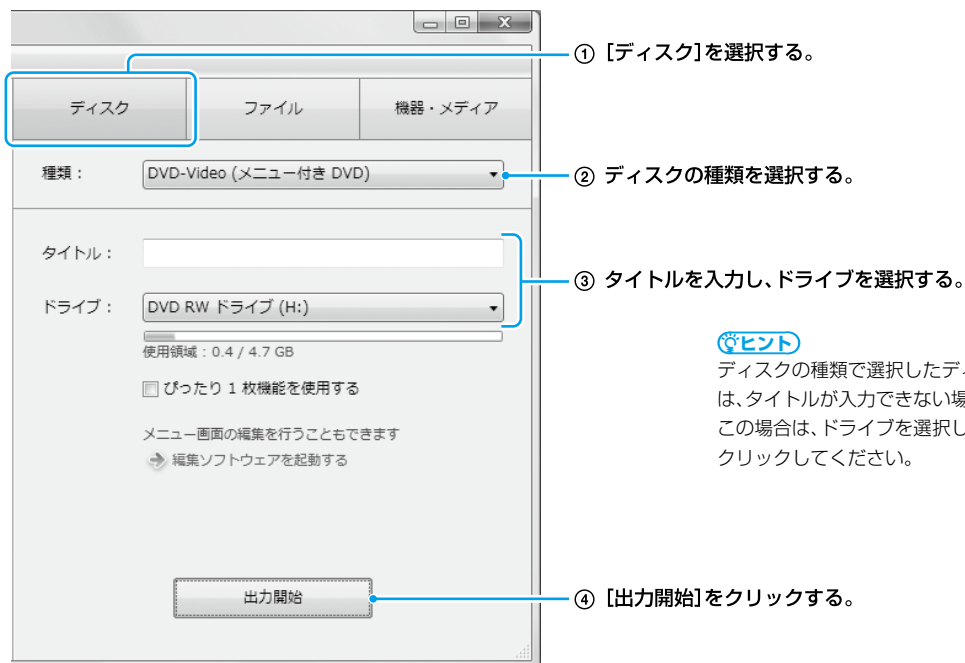
あらかじめ、ブランクメディア（データの書き込まれていないBDまたはDVD）をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」（136ページ）をご覧ください。

1 「PMB（Picture Motion Browser）」ソフトウェアを起動する。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Sony Picture Utility］－［PMB - Picture Motion Browser］をクリックします。

2 ディスクに書き出す画像を選択し、「VAIO Content Exporter」ソフトウェアを起動する。

画像を選択し、（外部プログラムから開く）－［VAIO Content Exporter］をクリックします。

3 ディスクに書き出す。

ヒント
ディスクの種類で選択したディスクによっては、タイトルが入力できない場合があります。この場合は、ドライブを選択して［出力開始］をクリックしてください。

ディスクへの書き込みが始まります。

オリジナルBD・DVDを作成する

取り込んだ写真やビデオを編集して、ディスクに書き出すことができます。

あらかじめ、ブランクメディア(データの書き込まれていないBDまたはDVD)をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」(136ページ)をご覧ください。

!ご注意
BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデルのみです。

1 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Sony Picture Utility]－[PMB - Picture Motion Browser]をクリックします。

2 ディスクに書き出す画像を選択し、「Click to Disc Editor」ソフトウェアを起動する。

画像を選択し、 (外部プログラムから開く)－[Click to Disc Editor]をクリックします。
ディスクの種類を選択する画面が表示されるので、ディスクの種類を選択してください。

3 編集する。

① ディスクタイトルを入力する。

② メニューデザインを選択... をクリックして表示された画面で、メニューデザインを選択する。

4 ディスクに書き出す。

[ディスク作成開始]をクリックすると、ディスクへの書き出しが始まります。

写真・ビデオをもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

BD・DVD再生

BD・DVDを見る

「WinDVD」ソフトウェアでBDやDVDを再生します。

!ご注意

- 本機でBDやDVDを再生するときは、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。
- ブルーレイディスクドライブ搭載モデル以外をお使いの場合は、BDを再生できません。

1 「WinDVD」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[InterVideo WinDVD]－[InterVideo WinDVD for VAIO]または[InterVideo WinDVD BD for VAIO]をクリックする。

2 再生したいBDまたはDVDをドライブに入れる。

3 再生する。

「WinDVD」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

BD・DVD再生をもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットは、電話回線などで結ばれたコンピュータ同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやり取りすることができます。
電子メールについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。）

インターネットに接続するまでの流れ

手順1
接続する回線の種類を決める
「インターネット接続サービスの種類」を参考にして、接続する回線を決めます（54ページ）。

手順2
プロバイダと契約する
手順1で決めた回線のサービスを提供しているプロバイダを選び、契約します。契約が完了すると、プロバイダからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、回線装置などが郵送されてきます。

手順3
回線装置などを接続・設定する
プロバイダから送られてきたマニュアルに従って、回線装置などを接続し、必要な設定をします。

!ご注意
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

手順4
本機を接続する
「インターネット接続用機器につなぐ」をご覧になり、本機を接続します（24ページ）。

!ご注意
- はじめてインターネットに接続するときは、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

FTTH(光)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいはFTTH(光)と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
FTTH(光)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

その他の接続サービス

- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。
- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

インターネット接続に関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダ接続情報 (アカウント名、パスワード、DNSサーバなど)	プロバイダ
メール設定情報 (メールアドレス、メールアカウントなど)	プロバイダ
パソコン側の設定	VAIOカスタマーリンク

インターネットのセキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。
コンピュータウイルスの感染経路や被害の例について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[インターネットについてのご注意]－[インターネットのセキュリティについて]をクリックする。）

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。

Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
「Windowsを準備する」（28ページ）の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

！ご注意
Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PC セキュリティセンター」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

！ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。
定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティ専用窓口
電話番号：0120-70-8103（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
　(0466)30-3016（通話料お客様負担）
受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（年中無休）
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

パスワードを設定する

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
パスワードを設定すると、電源を入れたり、スリープモードまたは休止状態から復帰したりするときにパスワードの入力が必要になり、他の人に本機を使用されることを防ぐことができます。

！ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント
ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

Windowsパスワードを登録する

1 （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［ユーザー アカウントと家族のための安全設定］または［ユーザー アカウント］をクリックする。

3 ［ユーザー アカウント］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

4 ［アカウントのパスワードの作成］をクリックする。

5 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

6 ［パスワードの作成］をクリックする。

ヒント
「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」画面が表示された場合は、用途にあわせて［はい、個人用にします］または［いいえ］をクリックしてください。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセットディスクを作成することができます。
詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

パスワードで使用できる文字について

パスワードには、以下の文字を使うことができます。

文字（アルファベットの大文字）
A, B, C, D, E ...

文字（アルファベットの小文字）
a, b, c, d, e ...

数字
0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

記号（文字または数字として定義されないもの）
` ~ ! @ # $ % ^ & * ( ) _ - + = { } [ ] ¥ | : ; " ' < > , . ? /

Windowsパスワードを変更する

1 (スタート)ボタン－[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの変更]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント

パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

7 [パスワードの変更]をクリックする。

Windowsパスワードを削除する

1 (スタート)ボタン－[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの削除]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 [パスワードの削除]をクリックする。

増設する

メモリを取り付ける／はずす

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。また、2か所以上のスロットにメモリモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、さらにパフォーマンスが向上します。
お使いの機種のメモリについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

メモリを増設するときのご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

メモリを取り付けるには

!ご注意

- 本機後面のメモリカバーを取りはずすと、メモリモジュールを取り付けるスロットが上下2段に配置されています。1枚だけメモリを取り付ける場合は、上側のスロットを空けて、必ず下側のスロットに取り付けてください。
- メモリモジュールの取り付けは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ（溝の内側）部分の突起の位置を正しく合わせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

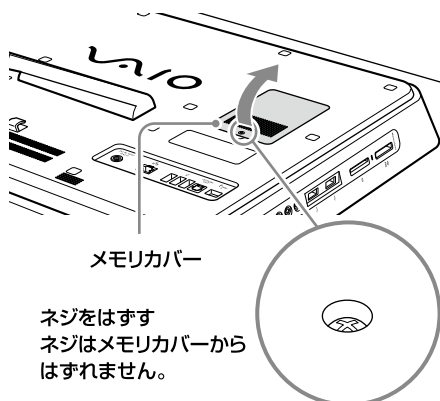
1 **本機と周辺機器の電源を切り、ACアダプタおよび本機に接続しているすべてのケーブルを取りはずす。**

2 **本機前面を下にして置く。**

!ご注意

- 本機に傷がつかないように布などをしいてください。
- 本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。

3 メモリカバーを取りはずす。

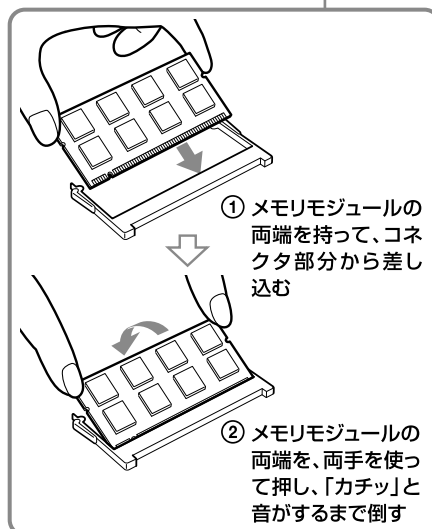
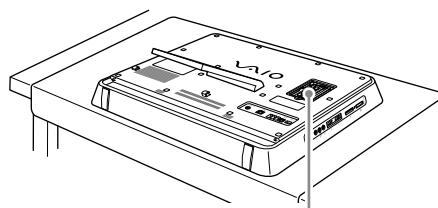
ネジをはずして、メモリカバーを取りはずします。ネジはメモリカバーからはずれません。

4 メモリモジュールを取り付ける。

メモリモジュールにはエッジコネクタ部分に切り欠きがあります。

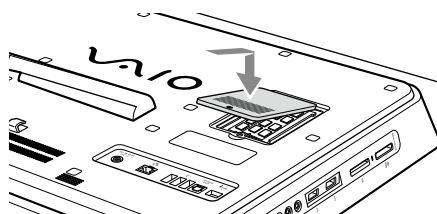
① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝に合わせて、奥までしっかりと差し込む。

!ご注意

エッジコネクタ部分を傷つけないようにご注意ください。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールをゆっくりと倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリモジュールの黒いICの部分を触らないでください。

!ご注意

- メモリを取り付ける際は、内部に異物を落とさないようにしてください。故障の原因となります。
- メモリモジュールを1枚だけ取り付ける場合は、必ず下側に取り付けてください。

5 メモリカバーを元に戻し、ネジで留める。

6 手順1で取りはずした周辺機器とACアダプタを接続し、本機の電源を入れる。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]をクリックする。

3 [システム情報]をクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

4 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

ここを確認する。

メモリを取りはずすには

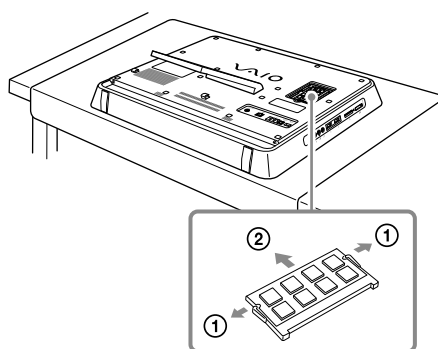
次の手順でメモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

！ご注意

本機に傷がつかないように布などをしいてください。

1 「メモリを取り付けるには」の手順1 ～ 3を行う。

2 メモリモジュールを取りはずす。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。
② メモリモジュールを矢印の方向にゆっくり引き抜く。

3 「メモリを取り付けるには」の手順5 ～ 6を行う。

！ご注意

- メモリモジュールの取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取りはずすと、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取りはずすときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
  - メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。（65ページ）
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- **ファイルのバックアップ**
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「ファイルをバックアップするには」（65ページ）をご覧ください。
- **復元ポイント**
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。
  そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」（67ページ）をご覧ください。

ヒント

CD ／ DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。（80ページ）

！ご注意

- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。
  本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。
  リカバリディスクの作成方法については、「リカバリディスクを作成する」（63ページ）をご覧ください。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクについて

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」(73ページ)をご覧ください。

!ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリセンター」を使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html

* マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。(36ページ)

!ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスク作成についてのご注意

- リカバリディスクの作成中は、ディスクドライブのイジェクトボタンを押さないでください。
  ディスクの作成に失敗することがあります。
- ハードディスク上の空き容量が少ない場合は、リカバリディスクを作成できません。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクを作成するには、未使用の書き込み可能なディスクが必要です。本機には付属しておりませんので別途ご用意ください。

!ご注意

- Blu-ray DiscまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」(136ページ)をご覧ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。

ヒント

リカバリディスクを作成する前に、VAIO Updateを実行して本機をアップデートすることをおすすめします。
VAIO Updateについて詳しくは、「本機をセットアップする」内「重要情報を自動的に入手する」(38ページ)をご覧ください。
VAIO Updateが搭載されていないモデルをお使いの場合は、VAIOカスタマーリンク ホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)からお客様が選択されたモデルに該当するアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
また、本機をリカバリした際には再びVAIO Updateを実行してください。

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[リカバリディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

ヒント
画面下部のチェックボックスにチェックを付けると、リカバリディスクの作成完了後に、ディスクが正しく作成されたかどうかの確認を行います。チェックを付けることをおすすめします。(チェックを付けない場合に比べて処理に時間がかかります。)

5 [次へ]をクリックする。

ヒント
外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
- リカバリディスクの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

「バックアップと復元センター」を使う

「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

(Windows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルをお使いの場合)

ファイルをバックアップするには

初めてファイルをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成するファイルの種類、スケジュールの設定などを行います。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

ヒント
「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、デスクトップ画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。
- 外付けハードディスクドライブ(推奨)
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* 本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。(80ページ)
ただし、万一ハードディスクが故障した場合ドライブのデータは失われるので注意してください。

4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

5 [設定を保存しバックアップを開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント
スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。

スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま[設定を保存しバックアップを開始]をクリックし、次の手順に進んでください。

6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある[設定の変更]をクリックする。

7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある[無効にする]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で[ファイルのバックアップ]をクリックするだけでバックアップすることができます。

!ご注意
- 本機に搭載されている一部のソフトウェアで管理している曲や画像・情報などのデータは、「バックアップと復元センター」ではバックアップできない場合があります。ソフトウェアに専用のバックアップツールが用意されている場合は、ヘルプを参照してご使用ください。
- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。

バックアップからデータを復元するには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルの復元]をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 [最新バックアップにあるファイル]または[古いバックアップにあるファイル]を選択し、[次へ]をクリックする。

[古いバックアップにあるファイル]を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、[次へ]をクリックしてください。

4 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

一覧にデータが表示されていない場合は、[ファイルの追加]や[フォルダの追加]をクリックして表示された画面からバックアップデータを選択し、[追加]をクリックしてください。

5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、[復元の開始]をクリックする。

6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、[完了]をクリックする。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

ヒント
復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 [システムの保護]タブをクリックする。

4 「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、[作成]をクリックする。

復元ポイントの作成画面が表示されます。

5 復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。

6 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[OK]をクリックする。

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

システムの復元ポイントから復元するには

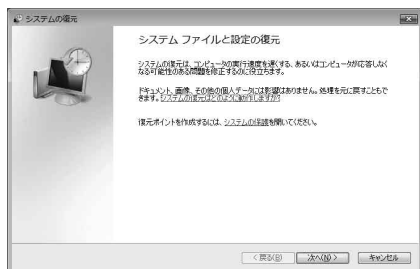
!ご注意

「SonicStage」ソフトウェアを使用している場合、大切な曲データの消失を防ぐために、システムの復元をする前にあらかじめ「SonicStage バックアップツール」を使って曲データをバックアップしてください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
システムの復元をしたあとに「SonicStage バックアップツール」で曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

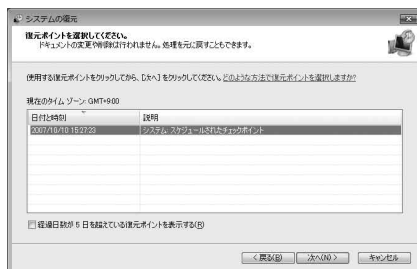
❑ Windowsが起動する場合は

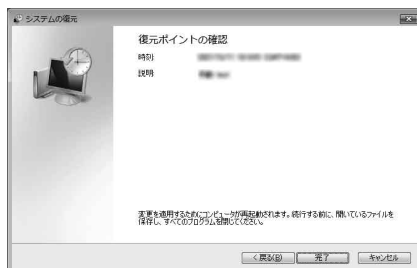
1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[システムの復元を使ってWindows を修復]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

4 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元するディスクの確認画面が表示されます。

5 内容をよく確認して[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 内容をよく確認して[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❑ Windowsが起動しない場合は

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

ヒント
以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。
④ 手順3に進む。

2 矢印キーで「Windows 回復環境 (Windows RE) 」を選択し、Enterキーを押す。

3 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順5へ進んでください。

4 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント
ファイルのバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。(77ページ)

5 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
以降、「Windowsが起動する場合は」の手順3 ～ 8に従って操作してください。

ソフトウェアやドライバを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

!ご注意
- ソフトウェアやドライバによっては、復元できないものもあります。
- お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。
- 復元する前にプログラムの削除を行ってください。正常に復元できない場合があります。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

5 復元したいソフトウェアまたはドライバのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

リカバリ(再セットアップ)

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。

- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。(72ページ)

手順1
リカバリディスクを作成していない場合は、作成する。(63ページ)

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。(65ページ)

手順3
以下のいずれかを実行してみる。

- システムの復元をする。(68ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。(69ページ)

手順4
それでも本機の調子が悪い場合は、「Windowsからリカバリするには」(74ページ)の手順に従ってリカバリする。

リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1

システムの復元をする。(68ページ)

本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。

手順2

データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。(77ページ)

本機の調子が悪くなる前にファイルのバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3

「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。

「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスク)の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。
詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

手順4

「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(76ページ)の手順に従って、リカバリする。

リカバリする

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うために必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

リカバリの種類

リカバリ方法を次の2種類から選択することができます。通常は、「C ドライブのリカバリ」を行うことをおすすめします。

❑ C ドライブのリカバリ

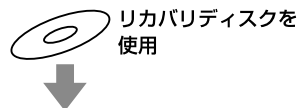
C:ドライブにあるすべてのデータを削除した上で、お買い上げ時の状態に戻します。

C:ドライブのみデータが削除されます。
リカバリ領域や、追加で作成したパーティションのデータは削除されません。

❑ お買い上げ時の状態にリカバリ

ハードディスク上のすべてのドライブを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。また、パーティションサイズを変更したい場合もこちらを選択してください。

ハードディスクの状態

リカバリ領域	C:ドライブ

ハードディスク上にあるすべてのデータが削除されます。

！ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです(一部のソフトウェアを除く)。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。(63ページ)

リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず最後までリカバリを行ってください。リカバリが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなる場合があります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてリカバリできなくなったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

著作権保護されている音楽データなどをバックアップする際のご注意

著作権保護されているデータ(「SonicStage」ソフトウェアなどで取り込んだ音楽データや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど)をバックアップするために、これらのデータを取り込んだ時に使用したソフトウェアの専用バックアップツールが用意されている場合があります。(例:「SonicStage バックアップツール」など)
本機をリカバリする場合、これらのデータはあらかじめ専用バックアップツールを使ってバックアップしてください。
専用バックアップツールをお使いにならずに、本機をリカバリし、データを復元しても、著作権保護されているデータは復元できない場合がありますのでご注意ください。

Windowsからリカバリするには

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。
Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(76ページ)をご覧ください。

!ご注意
ドライブにディスクが入っている場合は、すべて取り出してから以下の手順で操作してください。

1 (スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[VAIO リカバリセンター]-[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

ヒント
- C:ドライブ以外にご自分で新しくドライブを作成している場合など、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。(80ページ)
- [お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択すると、Windowsがインストールされているハードディスクのデータをすべて消去し、本機のハードディスクをお買い上げ時の状態に戻します。パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

警告画面が表示されます。

ヒント
[お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択した場合は、リカバリディスクの作成を警告する画面が表示されます。
リカバリディスクを作成していない場合は、画面の指示に従って、事前にリカバリディスクを作成してください。
すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。
その後、画面の指示に従ってパーティションの設定を行ってください。

4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックする。

「Windowsのリカバリ中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント

- リカバリ作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら［完了］をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

7 「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」（28ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリが完了しました。
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

！ご注意

- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で［SETUP.EXEの実行］をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、［ユーザー設定］をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから［マイ コンピュータからすべて実行］をクリックする。
⑤ ［今すぐインストール］をクリックする。
インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、［閉じる］をクリックする。
⑦ Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の［OK］をクリックする。
引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」（66ページ）をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが起動しない状態でリカバリするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリディスクを使ってリカバリする
  リカバリ領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリディスクを使ってリカバリすることができます。ただし、リカバリ領域からリカバリするよりも時間がかかります。
- リカバリ領域からリカバリする
  ハードディスクのリカバリ領域からリカバリするため、リカバリディスクを使うよりも速くリカバリすることができます。

リカバリディスクを使ってリカバリするには

1　本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

2　矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

3　画面左側の[C ドライブのリカバリ]または[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント
- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。（78ページ）
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]－[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックする。）

Windowsのリカバリが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

！ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

4　「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」（28ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリが完了しました。
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

！ご注意
- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXEの実行]をクリックする。
　「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
　「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。
⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
　インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

⑦ Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックする。
引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。（78ページ）

リカバリ領域からリカバリするには

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
以降、リカバリディスクを使ったリカバリの手順3からの操作と同様です。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。（78ページ）

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスク上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスク上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー(バックアップ)するには

!ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD / DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から3の操作を行い、[中断した作業を再開する]チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD / DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- "メモリースティック"やSDメモリーカード、フラッシュメモリなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD / DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 (スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、[開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

!ご注意
「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

ヒント
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

Windows メールのメールデータをバックアップする

1 VAIO データレスキューツールを起動させる。(78ページ)

2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

ヒント
データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

3 [Users]－[VAIO(ユーザー名)]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。

4 [次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

Windows メールのバックアップを復元する

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows メール]をクリックする。

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

2 [ファイル]－[インポート]－[メッセージ]をクリックする。

「プログラムの選択」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

4 [参照]をクリックして表示された画面で、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[フォルダの選択]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント

VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとはハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。

パーティションを作成する

パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリ時に作成する

!ご注意

- リカバリ時にパーティションを作成する場合は、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。
- C:ドライブのパーティションサイズを変更して小さくすると、ドライブの空き容量が足りず、リカバリディスクの作成やリカバリなどの操作が正常に行われない場合があります。

❑ Windows上の操作で作成する

1 (スタート)ボタン－[コントロールパネル]－[システムとメンテナンス]－「管理ツール」の[ハード ディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクの管理」画面が表示されます。

2 C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮:」画面が表示されます。

3 圧縮する領域のサイズを設定して、[圧縮]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

ヒント
本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスク上のデータが分散しているため「未割り当て」の空き領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。((スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。)

4 「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

5 画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

❑ リカバリ時にパーティションを作成する

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。
リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順で行うこともできます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

4 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

ヒント
「お買い上げ時のパーティション設定にしますか？」と聞かれた場合は、[パーティション設定を変更]を選んでください。

5 ドロップダウンリストから、[数値入力(C ドライブとD ドライブに分割する)]を選択する。

6 C:ドライブのサイズを設定して、[次へ]を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスクのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクのデータを完全に消去することができます。

!ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスク上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。（63ページ）
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、ファイルのバックアップを使ってバックアップしてください。（65ページ）
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い（78ページ）、バックアップ完了後に［終了］をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

3 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

4 画面左側の［VAIO データ消去ツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

5 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

6 制限事項や準備の説明内容をよく読んだら、［次へ］をクリックする。

7 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、［次へ］をクリックする。

8 データの消去方式を選択し、［次へ］をクリックする。

9 データ消去するハードディスクを確認し［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［次へ］をクリックする。

10 再度、［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［消去開始］をクリックする。

ハードディスクのデータの消去が開始されます。

11 消去終了の確認画面が表示されたら、［OK］をクリックする。

本機の電源が切れます。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（86ページ）

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」からも調べられます。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェアを簡単にチェックするためのソフトウェアとして、ハードウェア診断ツールがインストールされています。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

2 電子マニュアルを調べる

取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（99ページ）

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックしてください。

「Windowsのヘルプとサポート」をご覧ください。（100ページ）

「Windows ヘルプとサポートを見る」（100ページ）をご覧ください。

各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（100ページ）

3 サポートホームページで調べる

「サポートホームページで調べる」をご覧ください。(101ページ)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる

1 ～ 3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。(105ページ)

❑ バイオの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

(0120) 60-3399(フリーダイヤル)

(ロクゼロ　サンサンキュウキュウ)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。

受付時間　**平日:9時～ 18時**
土曜、日曜、祝日:9時～ 17時
(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」(106ページ)が24時間ご利用いただけます。
詳しくは、「電話で問い合わせる」(105ページ)をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(116ページ)をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

よくあるトラブルと解決方法

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

電源／起動（89ページ）

- 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）
- Windowsの準備をしようとすると、「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示される
- 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない
- 電源が切れない
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない
- ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった
- Windowsが起動しない
- スリープモードに移行できない

パスワード（91ページ）

- Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった
- パワーオン・パスワード（BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード）を忘れてしまった
- Windows Vistaのユーザーアカウントのパスワードを設定、変更、または、削除したい

画面／ディスプレイ（92ページ）

- 画面に何も表示されない
- 画面の色がきれいに表示されない
- 画面が固まって動かない
- 画面が暗い
- 画像が乱れる
- 画面にドット欠損（輝点・滅点）がある

文字入力／キーボード（93ページ）

- 文字の入力方法がわからない
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない

マウス（94ページ）

- マウスを動かしてもポインタが動かない

ハードディスク(94ページ)

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった
- ハードディスクの空き容量を知りたい
- ハードディスクから異音がする
- リカバリ領域の容量を知りたい

CD ／ DVD ／ BD(95ページ)

- ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない

インターネット(96ページ)

- インターネットに接続できない

外部機器からの録画(96ページ)

- DV(デジタルビデオ)機器の映像を録画する方法がわからない
- HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう
- HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー／ライター)(97ページ)

- FeliCa機能が使えない

内蔵カメラ(MOTION EYE)(98ページ)

- 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用中にスリープモードに移行すると、本機の動作が不安定になる

エラーメッセージ(98ページ)

電源投入時のエラーメッセージ

- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「VAIO 電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」画面が表示されます。

2 [Q&A集]をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない（本機の電源ランプが点灯しないとき）

次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
接続について詳しくは、「ACアダプタを接続する」（25ページ）をご覧ください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
接続について詳しくは、「接続する」（22ページ）をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q Windowsの準備をしようとすると、「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示される

A 「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。
「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」（76ページ）に従って、リカバリを行ってください。

Q 電源を入れると、本機の電源ランプは点灯するが、画面に何も表示されない

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

1. 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
2. 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、電源コードやLANケーブルなど本機に接続されているケーブルなどをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認したうえで、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。
Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A （スタート）ボタン－ ボタン－[シャットダウン]をクリックしても電源が切れない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsのシャットダウン」画面を表示させ、リストから[シャットダウン]を選択して[OK]をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックしてください。
詳しくは、「画面が固まって動かない」（92ページ）をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。
② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。
③ それでも電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認する。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「Non-System disk or disk error. Replace and strike any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください（80ページ）。

Q ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe（セーフ）モードで起動し、ドライバを再インストールしてください。

① 本機の電源ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。
② 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、↑／Pg Upキーまたは↓／Pg Dnキーを押して[セーフモード]を選択し、Enterキーを押す。
③ Windowsが起動したら、 （スタート）ボタン－[コントロールパネル]－[システムとメンテナンス]－[デバイスマネージャ]をクリックする。
④ 「デバイスマネージャ」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの[プロパティ]をクリックしてプロパティ画面を表示し、[ドライバ]タブをクリックする。
⑤ [ドライバを元に戻す]をクリックし、正常に起動していたときのドライバをインストールする。
⑥ 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q Windowsが起動しない

A 「Windowsが起動しない場合」(72ページ)の手順に従って操作してください。

Q スリープモードに移行できない

A スクリーンセーバーの種類によっては、表示中はスリープモードに移行できないことがあります。「Windowsロゴ」など、Windows標準のスクリーンセーバーに変更してください。

パスワード

Q Windowsのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

Q パワーオン・パスワード(BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワード)を忘れてしまった

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q Windows Vistaのユーザーアカウントのパスワードを設定、変更、または、削除したい

A 詳しくは「Windowsパスワードを設定する」(57ページ)をご覧ください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点をお確かめください。

- 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。接続について詳しくは「ACアダプタを接続する」（25ページ）をご覧ください。
- 本機の電源スイッチが入っているか確認してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにし、電源ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A 画面の色数の設定が［最高（32ビット）］になっているか確認してください。
詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［画面／ディスプレイ］－［画面の解像度／色数を変更する］をクリックする。）

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。
（スタート）ボタン－ ボタン－［シャットダウン］をクリックして電源を切り、本機の電源ボタンを押して起動し直してください。

A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定を勝手に変更してしまうものがあります。画面の色モード設定を無効にするか、ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［画面／ディスプレイ］－［画面の色補正を設定する］をクリックする。）

Q 画面が固まって動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、［タスクマネージャの起動］をクリックする。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、［タスクの終了］をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると電源ランプが消灯します。電源ランプがオレンジ色に点灯した場合は、いったん手を離し、再び電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い

A キーボードのFnキーを押しながらF5キーまたはF6キーを押して調節してください。

Q 画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離してください。

Q 画面にドット欠損(輝点・滅点)がある

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力/キーボード

Q 文字の入力方法がわからない

A 「VAIO 電子マニュアル」画面左上の[目次]をクリックし、最も下に表示される[できる Windows for VAIO]内の「文字を入力しよう」をご覧ください。

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A キーボードが正しく接続されているか確認してください(22ページ)。

A 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボードの「Num Lock」ランプが消灯していないかを確認してください。
消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。Num Lkキーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A 「Caps Lock」ランプが点灯していないか確認してください。
「Caps Lock」ランプが点灯していると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押して、「Caps Lock」ランプが消えているのを確認してください。

マウス

Q マウスを動かしてもポインタが動かない

A マウスが正しく接続されているか確認してください(23ページ)。

A 次の手順で本機の電源を入れ直してください。

① キーを押してスタートメニューを表示させ、→キーを押して ボタン－[シャットダウン]を選んでEnterキーを押す。

② 電源が切れたあと、約30秒後に本機の電源ボタンを押す。

それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、↓キーや→キーを押して (シャットダウン)ボタンを選び、Enterキーを押す。

A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。
CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって動かない」(92ページ)をご覧ください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります(73ページ)。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。
「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります(73ページ)。

Q ハードディスクの空き容量を知りたい

A (スタート)ボタン－[コンピュータ]をクリックしてください。
「コンピュータ」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]－[ディスクデフラグツール]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② [今すぐ最適化]をクリックする。
最適化(デフラグ)が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリ領域の容量を知りたい

A 次の手順で確認してください。

① (スタート)ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[管理]をクリックする。
「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② [記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。
ディスク 0にリカバリ領域とC ドライブのサイズが表示されます。

ヒント

表示される数値は、1GBを10億バイトで計算した場合のものです。Windowsのシステムでは1GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

CD ／ DVD ／ BD

Q ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない

A 本機で使用可能なディスクか確認してください(136ページ)。

A ディスクの挿入方法が正しいか確認してください。

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A 本機での動作を保証しているドライブかどうか確認してください。
本機での動作を保証しているドライブは、以下になります。

- お買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

A 後からインストールしたディスクの再生・書き込みソフトウェアを削除してください。
お買い上げ時にプリインストールされているソフトウェア以外のディスク再生・書き込みソフトウェアなどを追加でインストールしている場合、正常にディスクが認識されないことやディスクに書き込めないことがあります。
この場合は、追加したソフトウェアを一度削除(アンインストール)してご確認ください。削除の方法は、ソフトウェアのヘルプまたはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

インターネット

Q インターネットに接続できない

A プロバイダとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります(53ページ)。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」(24ページ)をご覧ください。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[インターネット]で[インターネット接続]または[ホームページ/電子メール]をクリックする。)

外部機器からの録画

Q DV(デジタルビデオ)機器の映像を録画する方法がわからない

A 「Click to Disc」ソフトウェアを使ってハードディスクへ映像を取り込むことができます。また、DV機器の映像から直接DVDを作成することができます。

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。
クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。
お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。

クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A コンピュータの設定を確認してください。

お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)

Q FeliCa機能が使えない

A FeliCaカード/携帯電話の位置を確認してください。

本機の (FeliCaプラットフォームマーク)に合わせて置いてください。
それでも反応しない場合は、カードを数ミリ移動させるか、数ミリ浮かせてください。

!ご注意

携帯電話の形状によっては、FeliCa通信できないことがあります。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)などに不具合がある可能性があります。

「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① 通知領域にある (オン)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オフ]を選択する。

② (スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[FeliCaポート]-[FeliCaポート自己診断]をクリックする。

③ 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。

診断が開始され、結果が表示されます。

FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。

また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

A 通知領域のアイコンが (オン)になっているか確認してください。

(オン)になっていない場合は、(オフ)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オン]を選択ください。

または、(オフ)をクリックしてもオンにすることができます。

A FeliCaカードが滑って正しい位置に置かれていない場合があります。

同梱のすべり止めシートを (FeliCaプラットフォームマーク)に合わせて貼り付けてください。
カードが滑りにくく、簡単に置けるようになります。

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]-[FeliCa]-[FeliCaカードを使う]をクリックする。)

内蔵カメラ(MOTION EYE)

Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用中にスリープモードに移行すると、本機の動作が不安定になる

A 内蔵カメラ(MOTION EYE)または外付けUSBカメラの使用中には、スリープモードに移行させないでください。

A 自動的にスリープモードに移行してしまう場合は、設定を変更してください。詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[電源オプションを変更する]をクリックする。)

エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 90ページをご覧ください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」で検索する

「VAIO電子マニュアル」では、取扱説明書(本書)より詳しい情報を掲載しています。
「VAIO 電子マニュアル」を起動して、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。
検索機能を使うと、「VAIO 電子マニュアル」の情報だけでなく、付属ソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネット接続時はサポートホームページからも情報を検索できます。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 トップページまたは「キーワード検索」ページの検索窓に、調べたいキーワード(単語)を入力し、[検索]をクリックする。

画面左側に検索結果が表示されます。

入力欄に複数のキーワード(単語)をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
(例:CD　再生)

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」やヘルプのトピックは、画面右側に表示されます。
サポートホームページの内容は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

（スタート）ボタン－［ヘルプとサポート］をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「VAIO 電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先］の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント
ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

サポートホームページで調べる

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

本機をインターネットに接続してご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するトラブル解決方法や活用方法、バイオを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

!ご注意
本マニュアルの「サービス・サポート」の内容は、2008年6月現在のものです。内容は随時更新されます。

各項目について、詳しくは102ページ～ 104ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

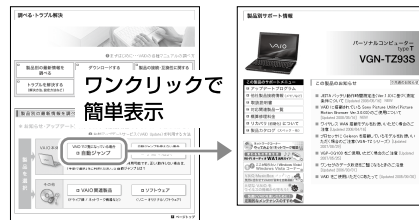
（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入り）から[VAIOサポートページ]－[1 トップページ（トラブル解決・使い方情報）]をクリックして表示します。

＜調べる・トラブル解決＞

バイオに関する疑問やトラブルを解決したいかたはこちらをご利用ください。

製品別サポート情報、Q&A検索、バイオにつながる製品の接続情報、付属ソフトウェアのお問い合わせ先、OS（Windows）に関する情報など、お困りの問題を解決するさまざまな情報を提供しています。

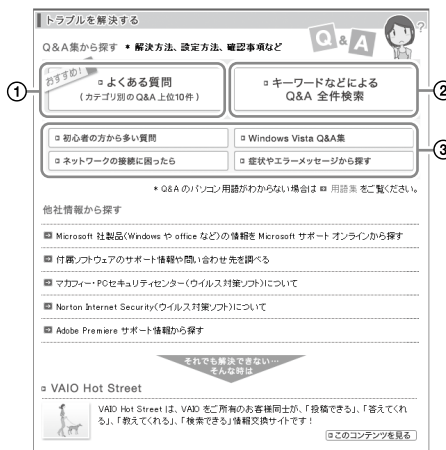
❑ 製品別サポート情報（お客様のバイオの専用サポートページ）

バイオの製品ごとに専用ページを用意しています。
お客様のバイオに関する「お知らせ」「Q&A検索」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」など最新サポート情報を確認できます。

❑ Q&A検索

バイオに関するトラブル解決方法や操作・設定方法など、知りたい情報を以下の方法で検索できます。

① よくある質問から探す
カテゴリ別に分類されています。

② キーワードや文章を入力して検索する。

③ その他
Windows Vista Q&A集　など

＜学ぶ・楽しむ・使い方＞

バイオをより活用したり楽しみたい、使いかたを知りたいというかたはこちらをご利用ください。

バイオならではの活用方法や知っておきたいお役立ち情報など、バイオをさらに快適に楽しむための情報を提供しています。

❑ VAIOでできること

VAIOでできること別に、活用方法をわかりやすくご紹介しています。
例）

- Windows（OS）の基本操作や活用方法
- 音楽を楽しむ
- ネットワークを楽しむ
- メンテナンス／バックアップ／セキュリティ
- ディスクを作る
- テレビを楽しむ
- インターネットを楽しむ
- 動画・映像編集を楽しむ
- 写真を楽しむ
- 年賀状（はがき）をつくる

など

＜修理／その他サービス＞

❑ 修理関連のご案内

故障かな？と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗状況の確認など、修理関連の情報を提供しています。

❑ その他サービスメニュー

バイオの設置・設定サービスや延長保証、点検サービスなど、各種有料サービスをご案内しています。
有料サービスの内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（114ページ）をご覧ください。

＜お問い合わせ＞

お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
「VAIOコールバック予約サービス」（106ページ）や「VAIOリモートサービス」（107ページ）もこちらからご利用いただけます。

＜初心者コーナー＞

初心者のかたから実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者のかたが知りたい情報をイラストなどを交えて分かりやすい言葉でご紹介しています。

ヒント

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入り）から［VAIOサポートページ］－［2 初心者コーナー］をクリックして表示することもできます。

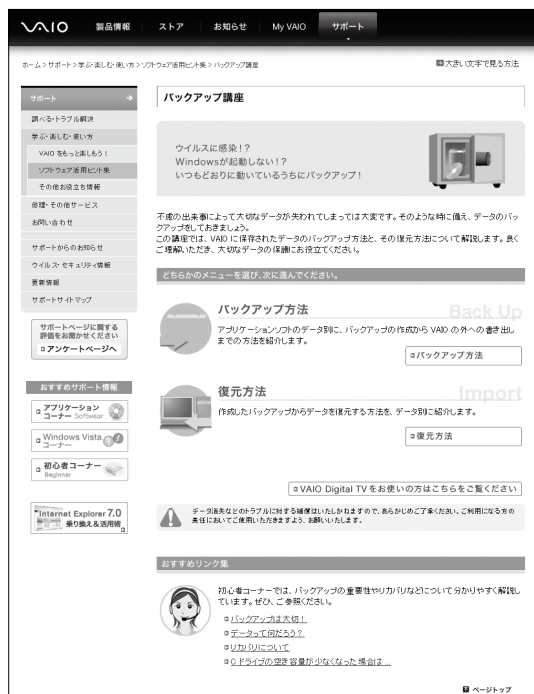
！ご注意

実際の画面とは異なる場合があります。

＜おすすめサポート情報＞

特におすすめのサポートコンテンツをご紹介しています。（掲載コンテンツは随時変更します。）

例）バックアップ講座

VAIOに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。大切なデータの保護にお役立てください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートサイト）

携帯電話用のVAIOサポートサイトで最新のサポート情報を提供しています。特にウイルス情報などを調べたいときや、バイオの修理状況を確認したいときなどに便利です。

！ご注意

- 修理状況の確認は、VAIOカスタマーリンクへ直接修理を依頼された場合にのみご利用いただけます。
  詳しくは、「「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について」（111ページ）をご覧ください。
- 対応端末は、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイです。

❑ メニュー

- お知らせ
  - 重要なお知らせ
  - What's New!
  - ウイルス・ワーム情報
  - マイクロソフト・セキュリティ情報
- Q&A
  - 新着Q&A
  - よくある質問
  - 初心者コーナー
  - Q&A・用語集検索
- サポート系コンテンツ
  - VAIOの修理について
  - VAIO Hot Street モバイル
- お楽しみコンテンツ
  - お楽しみリンク集

❑ アクセス方法

- URLからアクセス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
- QRコードからアクセス

（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

VAIO Hot Street（VAIOユーザの情報交換サイト）

バイオをお持ちのお客様同士で、よりバイオを活用するための情報を交換できるサイトです。
皆に教えてあげたい情報を投稿したり、わからないことを質問したり、質問に回答したりすることができます。
見たい投稿を閲覧するだけのご利用も可能です。

！ご注意

- 閲覧以外のご利用には、VAIOカスタマー登録を行っていただいた際に発行するMy Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 投稿内容に関して、ソニーは一切保証いたしません。

ヒント

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入り）から［VAIOサポートページ］－［3 VAIO Hot Street（情報投稿サイト）］をクリックして表示することもできます。

投稿を見る
VAIOの製品型名やキーワードなど、お好きな方法で投稿を簡単に探せます。

投稿・質問する
質問や投稿はこちらからお気軽に。

人気投稿ランキング

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

電話番号：（0466）38-1410（通話料お客様負担）
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：平日　10時 ～ 18時
（祝日、年末年始を除く）

！ご注意
バイオの使いかたのお問い合わせや修理の受付については、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」「修理相談窓口」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」では、バイオに関する技術的な質問を電話で承っております。

お問い合わせの前にご確認ください

❑ お試しください

「VAIO 電子マニュアル」やVAIOカスタマーリンクホームページで、バイオの操作やトラブルの解決方法をご確認ください。
詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」（99ページ）、「サポートホームページで調べる」（101ページ）をご覧ください。

❑ 付属ソフトウェアのお問い合わせについて

付属のソフトウェアに関するお問い合わせは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（116ページ）をご覧ください。
それ以外のソフトウェアについては、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❑ VAIOカスタマー登録をご確認ください

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
また、発信者番号通知にて、カスタマー登録の際に登録した電話番号でお電話していただくと、よりスムーズにオペレーターにつながります。
VAIOカスタマー登録について、詳しくは「カスタマー登録する」（36ページ）をご覧ください。

❑ 以下の内容をご用意ください（② ～ ④は該当する場合のみ）

① 本機の型名（保証書または「各部の説明」のIDラベルに記載されています。）
② 本機に接続している周辺機器名（メーカー名と型名）
③ エラーメッセージが表示された場合は、表示されたエラーメッセージ
④ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

❑ お問い合わせやご意見、個人情報の取扱いについて

お問い合わせ内容や商品に関するご意見は、商品開発およびサービス・サポート向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問などに適切に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」
電話番号：（0120）60-3399（フリーダイヤル）
（ロクゼロ　サンサンキュウキュウ）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間　平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（365日年中無休）
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」（106ページ）が24時間ご利用いただけます。

！ご注意
- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

ヒント
音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。

お問い合わせの際にご利用ください

- VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況
- VAIOコールバック予約サービス
- VAIOリモートサービス

各項目の詳しくは、以降をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（使い方相談）

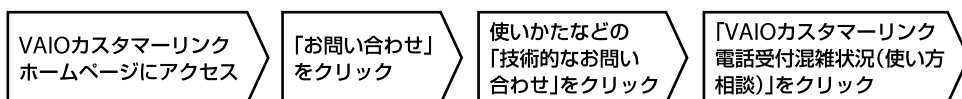
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

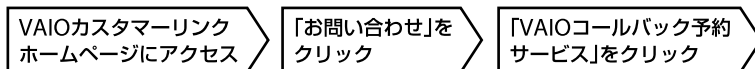
VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 使いかたなどの「技術的なお問い合わせ」をクリック → 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（使い方相談）」をクリック

VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただくと、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

予約受付：VAIOカスタマーリンクホームページからご予約可能
回答時間：365日24時間

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOコールバック予約サービス」をクリック

！ご注意
- 本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録を行っていただいた際に発行するMy Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 本サービスは、バイオ本体やバイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせにご利用いただけます。

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（101ページ）をご覧ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容を確認したり、使いかたなどをご案内するサービスです。
難しいパソコン用語は不要なので、「電話の説明だけではわかりにくい」「自分の状況をうまく説明できない」というかたは、ぜひお試しください。

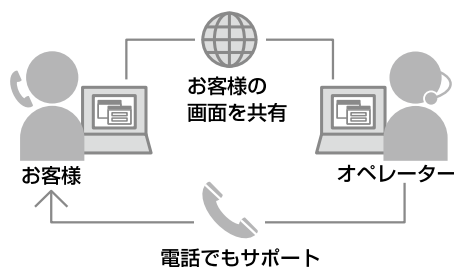
!ご注意

- 本サービスは、事前に「VAIOコールバック予約サービス」からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOリモートサービス」をクリック

ヒント

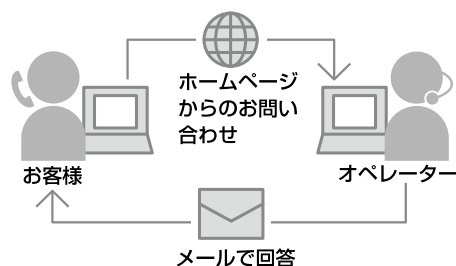
VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（101ページ）をご覧ください。

メールで問い合わせる／FAXで取り寄せる

メールで問い合わせる（テクニカルWEBサポート）

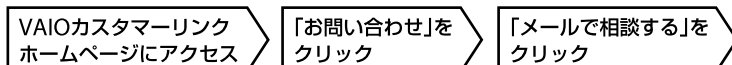
（http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html）

「テクニカルWEBサポート」は、バイオに関する使いかたなどの技術的な質問をホームページ内の問い合わせフォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです。

ヒント

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録を行っていただいた際に発行するMy Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「メールで相談する」をクリック

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（101ページ）をご覧ください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。

なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス

FAX番号：(0466)30-3040

！ご注意

一部の機種では提供されません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。修理を依頼される前に、下記のご確認をお願いします。

- 「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOカスタマーリンクホームページ」などで、お使いのバイオの症状に合うものがないかご確認ください。詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」（99ページ）、「サポートホームページで調べる」（101ページ）をご覧ください。
- VAIO Updateを利用して、お使いのバイオが最新の状態かご確認ください。バイオをアップデート（最新状態に）することにより、お客様のお困りの症状を解決できることがあります。VAIO Updateについて詳しくは、「重要情報を自動的に入手する」（38ページ）をご確認ください。

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページの「故障かな？と思ったら」（http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/mistake.html）でも故障と間違いやすい症状や解決方法などについてご案内しています。修理を依頼する前にご確認ください。

修理の流れ

修理を申し込む前の準備

❑ 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください

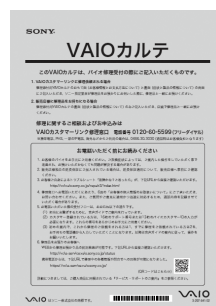
保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。「VAIOカルテ」を紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/precall.html）またはFAX情報サービス（108ページ）より入手できます。筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

SONY
VAIOカルテ

ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証に加入されている場合は、そちらの保証内容も確認されることをおすすめします。

❑ ご注意ください

- 修理時の代替機はご用意しておりません。
- 保証期間中でも有料になる場合があります。詳しくは保証書の「無料修理規定」をご覧ください。
- ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になります。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは「VAIOカルテ」をご覧ください。
- 修理のために交換した故障部品はお客様への返却をしておりませんので、あらかじめご了承ください。
- お買い求めいただいたバイオの保証書規定は日本国内のみ有効です。
  海外修理サービスとして「VAIO Overseas Service」をご用意しています。詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（114ページ）をご覧ください。

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページで修理規約についてご説明しています。ご確認ください。

❑ データのバックアップをおとりください

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりください。

弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データのバックアップをとる方法は、「バックアップについて」（62ページ）をご覧ください。

！ご注意

OSが起動しないなど、バックアップができない場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

❑ 概算修理料金について

ホームページで、製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。

VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/

❑ VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（修理相談）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/konzatu.html

修理相談窓口の混雑状況をVAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。お電話の前にご確認ください。

❑ その他

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合があります。ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。

修理を申し込む

① 修理窓口に電話をかける

「VAIOカスタマーリンク修理相談窓口」

電話番号：（0120）60-5599（フリーダイヤル）
（ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ）

※ 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3030（通話料お客様負担）

受付時間：平日：9時～ 20時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（365日年中無休）
※ 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

！ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。

ヒント

- 音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。
- 通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。（一部機種・地域を除く。2008年6月現在）

② 修理の受付

故障症状を確認し、修理が必要な場合、修理品のお引取り手配をいたします。

- オペレーターがお伝えする修理受付番号をお手持ちのVAIOカルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間を翌日以降で以下の4つの時間帯よりお選びください。
  ① 9時～ 12時／ ② 12時～ 15時／ ③ 15時～ 18時／ ④ 18時～ 20時（④は平日のみ）

！ご注意

- 上記は2008年6月現在で選択可能な時間帯です。
- 一部機種、一部地域では、ご利用できない時間帯があります。
- ご希望の日時、引取り場所などを調整させていただく場合があります。

お引取り

① お引取りまでの準備

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ
- 保証書(保証期間中のみご用意ください。)
- 必要な付属品類

② お引取り

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へ引き取りに伺います。

ヒント

- 修理品のお引取り、梱包材の用意や梱包作業、修理後のお届けは、ソニー指定の配送業者が無料で行います。
- 修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。
- VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様には、ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトで修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。
  詳細については「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」(111ページ)をご覧ください。

お届け／お支払い(有料の場合のみ)

① お届け

修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けします。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行ってください。

② お支払い(有料のみ)

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望されたかたは、お届けした際に配送業者に修理費用をお支払いください。

「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトでは、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様に、修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。

!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

VAIOカスタマーリンクホームページで確認する

修理の進み具合に応じて、「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をVAIOカスタマーリンクホームページ「修理／お預かり品状況確認」でご案内しています。

❑ アクセス方法

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「修理・その他サービス」をクリック → 「修理進捗状況と修理品到着後の確認」をクリック → 「修理／お預かり状況の確認」をクリック

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページへのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(101ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク モバイル(携帯電話向けサポートサイト)で確認する

修理品の進捗状況(7段階)および修理完了予定日のご案内、修理見積のご案内/見積内容へのご回答受付、お客様への問い合わせ連絡、見積時/修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをVAIOカスタマーリンクモバイル「修理お預かり情報」でご提供しています。

!ご注意

- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでの携帯メールアドレスのご登録が必要です。
- メール受信制限を設定している場合は、@sony.co.jpからのメールが受信できるように設定してください。

❑ アクセス方法

① VAIOカスタマーリンク モバイルの「修理お預かり情報」にアクセスする。

- URLからアクセス
  https://vcl.e-service.vaio.sony.co.jp/
- QRコードからアクセス
  (バーコード(QRコード)読み取り対応機種のみ)

② 「ログイン」を選択し、修理受付番号と電話番号を入力。

ヒント

ログインでは、修理受付の際にお伝えした修理受付番号(10桁)と、お伺いした「ご連絡先電話番号」を入力します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(109ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

その他のサービスとサポート

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、マイブックマークやメモなど、毎日便利にご利用いただける機能が満載です。ぜひご活用ください。
また、ログインボタンからMy Sony IDを使ってログインすると、お客様の登録製品情報やソニーポイント残高などが表示されます。

（2008年5月現在）

❑ My VAIO Pass（無償）

VAIOカスタマー登録（36ページ）をしていただいたお客様に無料で提供する優待プログラムです。
お得な優待キャンペーンや、対象サービスご利用によるソニーポイントのプレゼント（5 ～ 10%）など、さまざまな特典を受けることができます。

❑ My VAIO Passプレミアム（有償）

ワンランク上の優待プログラム「My VAIO Passプレミアム」なら、ソニーポイントのプレゼント率がさらにアップ。
また、プレミアムメンバー限定の無料コンテンツや優待販売、プレゼントキャンペーンなども随時ご提供します。

* 「ソニーポイント」とは、ソニーグループ共通のポイントプログラムです。貯めたポイントは、ソニーグループの多彩な商品やサービスの購入などにご利用いただけます。

各種有料サービスのご案内

お客様のスキルや目的、状況に合わせた各種有料サービスメニューが用意されています。
各種サービスはバイオオーナー向けサイトMy VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）からご覧ください（一部サービスを除く）。

！ご注意
2008年6月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

ベーシック
1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド
ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や火災・水災等の事故についてもご購入から3年間無料修理します。

！ご注意
- ご購入にはカスタマー登録が必要です。
- バイオご購入日から30日以内にお申込ください。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外です。

❑ VAIO Overseas Service（海外修理サービス）

http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/
海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。
また、その際お電話でのサポートも行います。

！ご注意
- 一部の機種はサービス対象外です。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要です。
- バイオご購入日から60日以内にお申込ください。

❑ VAIO設置設定サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。
各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

デジホームサポートデスク
電話番号　：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
　　　　　　（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間　：10：00 ～ 18：00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/
最新版のセキュリティソフトを月額367円（税込み）からご用意していますので気軽にご利用いただけます。
年次更新の手続きも必要なく、いつでも安心です。

❑ VAIOメール

http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/
バイオをお持ちのかたに「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスを提供します。
プロバイダを変更しても、同じメールアドレスを使えます。Webメール機能で携帯電話や外出先からもご利用いただけます。

❑ VAIOソフトウェアセレクション

http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/
VAIOカスタマー登録をしていただいたお客様にお得な価格でご購入いただけるソフトウェアのダウンロード販売です。
バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。

❑ セミナー・個人レッスン

http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

セミナー

バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

ITエンターテインメントセミナー事務局
電話番号　：（0570）075-111（一般及び携帯電話）
（03）5789-3493（PHS・IP電話）
受付時間　：10：00～18：00

個人レッスン

バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。
お申し込み、講座内容や料金等詳細については、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

❑ 部品の販売について

http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/
バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。

購入可能な部品例

キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

ご注文方法

- ソニーサービスステーション（SS）でのご注文（SS窓口で受け取りの場合お支払いは部品代のみ。）
- ホームページより部品をご注文（対象機種のみ）（部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込））

！ご注意

- ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。
- ホームページからご注文いただく場合は、VAIOカスタマー登録が必要です。

❑ VAIOカスタマイズサービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/
バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスです。
1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。
メモリやハードディスクのアップグレード、キーボードの交換などのメニューをご用意しています。（対象機種のみ）

❑ アップデートCD-ROM 送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/
ネットワーク経由でのアップデートが困難なお客様に、お使いの機種に応じたアップデートCD-ROMを有料で送付するサービスです。

❑ リカバリディスク送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/purpose/repair/
VAIOを再セットアップするときに必要なディスクを有料で送付するサービスです。
ご提供するリカバリディスクは、VAIOにプリインストールされている「リカバリ作成ツール」からお客様ご自身で作成することができるディスクと同等のものです。

！ご注意

お申込みには、該当製品のカスタマー登録が必要になります。

❑ 訪問修理サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/
お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお応えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみ）
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前にホームページをご確認ください。

❑ VAIOクリニック（点検サービス）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/clinic/
ソニー品質基準に基づいた各種点検に加え、普段手入れのできない内部のお掃除やキーボード交換など、お客さまのVAIOを専門のスタッフが1台1台丁寧にクリニックします。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「VAIO電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント

本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。付属のソフトウェアを確認するには、付属の「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧になるか、または(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]の順にクリックする。**

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 **「VAIO 電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]をクリックし、表示されたソフトウェア名をクリックする。**

!ご注意

- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
  本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

OS

❑ **Windows(ウィンドウズ) Vista(ビスタ)(R) Home(ホーム) Premium(プレミアム) with(ウィズ) Service(サービス) Pack(パック) 1 正規版**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Windows(ウィンドウズ) Vista(ビスタ)(R) Home(ホーム) Basic(ベーシック) with(ウィズ) Service(サービス) Pack(パック) 1 正規版**

VAIOカスタマーリンク

AVエンターテインメント

❑ **Windows(ウィンドウズ)(R) Media(メディア) Center(センター)**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Windows(ウィンドウズ) Media(メディア)(R) Player(プレーヤー)**

VAIOカスタマーリンク

❑ **WinDVD(ウィンディーブイディー) BD(ビーディー) for(フォー) VAIO(バイオ)**

VAIOカスタマーリンク

❑ **WinDVD(ウィンディーブイディー) for(フォー) VAIO(バイオ)**

VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集

❑ **VAIO(バイオ) Movie(ムービー) Story(ストーリー)**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO(バイオ) Content(コンテント) Exporter(エクスポーター)**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Adobe(アドビ)(R) Premiere(プレミア)(R) Elements(エレメンツ)(R)**

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：(0570) 023623(ナビダイヤル)
または(03) 5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償の

サービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
(無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。)
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
(年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く)
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ VAIO Edit Components
VAIOカスタマーリンク

❑ DigiOnSound(R) L.E. for VAIO(HDV対応版)
株式会社デジオン
電子メール：下記のURLのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：
https://www.digion.com/support/dgon_oemsupport_form.htm
※ E-mailでのサポートサービスのご提供となります。

BD ／ DVD作成

❑ Click to Disc
VAIOカスタマーリンク

❑ Click to Disc Editor
VAIOカスタマーリンク

❑ Roxio Easy Media Creator
Roxio サポートセンター
電話番号：(0570) 00-6940(ナビダイヤル)
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
(祝祭日、ソニックソルーションズ株式会社特別休業日は除く)
※ Roxioサポートセンターに電話でお問い合わせ頂いた場合、お客様がご利用されている電話回線・端末の種類によって通話料のご負担額が異なります。
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：http://www.roxio.jp/support/

音楽

❑ SonicStage CP
VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio
VAIOカスタマーリンク

❑ DSD Direct Player
VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO MusicBox
VAIOカスタマーリンク

❑ LifeFLOW
VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ Windows(R) フォトギャラリー
VAIOカスタマーリンク

❑ PMB(Picture Motion Browser)
VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R)
アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：(0570) 023623(ナビダイヤル)
または(03) 5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
(無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。)
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
(年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く)
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

ホームネットワーク

❑ VAIO Media plus
VAIOカスタマーリンク

❑ branco player
ホームページ：http://www.branco.tv/

コミュニケーション

❑ Magic-i(TM) Visual Effects
アークソフト　カスタマーサポートセンター
電話番号：（0570）060655（ナビダイヤル）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 18時（年末年始、祝日除く）
電子メール：support@arcsoft.jp
ホームページ：http://www.arcsoft.jp

❑ WebCam Companion
アークソフト　カスタマーサポートセンター
電話番号：（0570）060655（ナビダイヤル）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 18時（年末年始、祝日除く）
電子メール：support@arcsoft.jp
ホームページ：http://www.arcsoft.jp

❑ VAIO Topic Visualizer
VAIOカスタマーリンク

❑ Skype
http://www.skype.co.jp/

インターネット・メール

❑ Windows(R) メール
VAIOカスタマーリンク

❑ Windows(R) Internet Explorer
VAIOカスタマーリンク

❑ Yahoo!ツールバー
ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
電子メール：
https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
※上記ホームページから送信いただけます。
ホームページ：http://www.yahoo.co.jp/
http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html
（Yahoo!ツールバーヘルプページ）

セキュリティー

❑ マカフィー・PCセキュリティセンター
1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
製品のインストールに関するお問合せ
マカフィー製品の使い方、設定方法
マカフィー製品に絡むパソコンの障害
2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
ユーザ登録方法
契約情報の確認、更新
キャンペーンに関するご相談
電話番号：
1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
（0570）060-033
（03）5428-2279（IPフォン･光電話の方はこちらへ）
2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（0570）030-088
（03）5428-1792（IPフォン･光電話の方はこちらへ）
*　いずれのセンターも通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
受付時間：
1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
年中無休　9時～ 21時
2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜～金曜　9時～ 17時（祝日、祭日は除く）
電子メール：
＜お問合せ専用Webフォーム＞
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/cscontact.asp
ホームページ：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

❑ Spy Sweeper（90日期間限定版）
電話番号：（0570）055250
受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 19時（土曜、日曜、祝日、年末年始休業（12/29 ～翌1/3）、夏期休業3日を除く）
電子メール：JPcustomer@webroot.com
ホームページ：http://www.webroot.co.jp/

❑ i-フィルター 5.0（30日期間限定版）

デジタルアーツ株式会社　サポートセンター
電話番号：月曜～金曜：（03）3580-5678
土曜、日曜、祝日、デジタルアーツ株式会社休業日：
（0570）00-1334
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時、
土曜、日曜、祝日、デジタルアーツ株式会社休業日：
10時～ 20時
電子メール：p-support@daj.co.jp
ホームページ：
よくある質問：http://www.daj.jp/faq/
ユーザーサポートお問い合わせフォーム：
http://www.daj.jp/ask/

ISPサインアップ

❑ So-netサービス紹介

ソネットエンタテインメント株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS・IP電話から）　札幌（011）711-3765
（携帯PHS・IP電話から）　仙台（022）256-2221
（携帯PHS・IP電話から）　東京（03）3513-6200
（携帯PHS・IP電話から）　名古屋（052）819-1300
（携帯PHS・IP電話から）　大阪（06）6577-4000
（携帯PHS・IP電話から）　広島（082）286-1286
（携帯PHS・IP電話から）　福岡（092）624-3910
※ お客さまのご要望に正確かつ迅速に対応するため、通話内容を録音させていただいております。対応終了後、消去いたします。
ファックス番号：（03）5228-1586
受付時間：9時～ 21時（年中無休）
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケー

ジ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意
- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ 筆ぐるめ

富士ソフト株式会社　インフォメーションセンター
電話番号：（03）5600-2551
受付時間：9時30分～ 12時、13時～ 17時
（土曜、日曜、祝日、および富士ソフト株式会社休業日を除く）
※ただし、11/1 ～ 12/30の間は無休サポート
ファックス番号：（03）3634-1322
電子メール：users@fsi.co.jp
ホームページ：http://info.fsi.co.jp/fgw/

❑ Adobe(R) Acrobat(R) Standard

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）
または（03）5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ ATOK for Windows

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：平日：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ NAVITIME 乗換案内ガジェット

株式会社ナビタイムジャパン
電話番号：（03）3526-0712
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3526-0717
電子メール：pc-service@navitime.co.jp
ホームページ：http://www.navitime.co.jp/

❑ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/

❑ ebi.BookReader

株式会社イーブック イニシアティブ ジャパン
電子メール：support@ebookjapan.co.jp
ホームページ：
http://www.ebookjapan.jp/shop/support/index.asp

❑ 一太郎ビューア

一太郎ビューアのサポートサービスは行っておりません。一太郎ビューアの最新情報につきましては、下記URLをご確認ください。
ホームページ：
https://www.ichitaro.com/viewer/download.html

❑ ジャストホームEX2

ジャストシステムサポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：平日：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

ゲーム・学習

❑ IBM ホームページ・ビルダー 12（30日間体験版）

ダイヤルIBM
電話番号：
フリーダイヤル(0120) 04-1992
※ フリーダイヤル(0120)をご利用いただけないお客さまは、(03) 6220-8002をご利用ください。
（通話料金はお客さまのご負担となります。）
受付時間：
9時～ 18時（土曜、日曜、祝日、12月30日～ 1月3日を除く）
ホームページ：
http://www.ibm.com/jp/contact/info/dialibm/

❑ タイピング競馬 体験版

株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：(03) 5283-3625
受付時間：月曜～金曜：13時～ 18時（祝日を除く）
ファックス番号：(03) 5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ えいご漬け 改訂版（体験版）

プラト株式会社
電話番号：(03) 3456-3803
受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時
（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：(03) 3456-3804
電子メール：support@plato-web.com
ホームページ：http://www.plato-web.com/

FeliCa（フェリカ）

❑ かざそうFeliCa

VAIOカスタマーリンク

❑ Edy Viewer

Edy救急ダイヤル
電話番号：(0570) 081-999（ナビダイヤル）
(03) 6420-5699
受付時間：平日：9時30分～ 19時
土曜、日曜、祝日：10時～ 18時
（1/1 ～ 1/3と毎年2月第1日曜日を除く）
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ SFCard Viewer 2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ スクリーンセーバーロック2

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：

月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かんたん登録 2

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：

月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for VAIO（フォー バイオ）

VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：

月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ NFRM PC Viewer（エヌエフアールエムピーシー ビューワー）

NFRM公式Webサイト

http://sony.nfrm.jp/

❑ FeliCa（フェリカ）ブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：

月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ VAIO（バイオ） の設定

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ VAIO（バイオ） ナビ

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO（バイオ） 電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows（ウィンドウズ） Vista（ビスタ） for（フォー） VAIO（バイオ）

インプレスカスタマーセンター

電話番号：（03）5213-9295

❑ VAIO（バイオ） ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO（バイオ） Update（アップデート）

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO（バイオ） リカバリセンター

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO（バイオ） データリストアツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データレスキューツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データ消去ツール

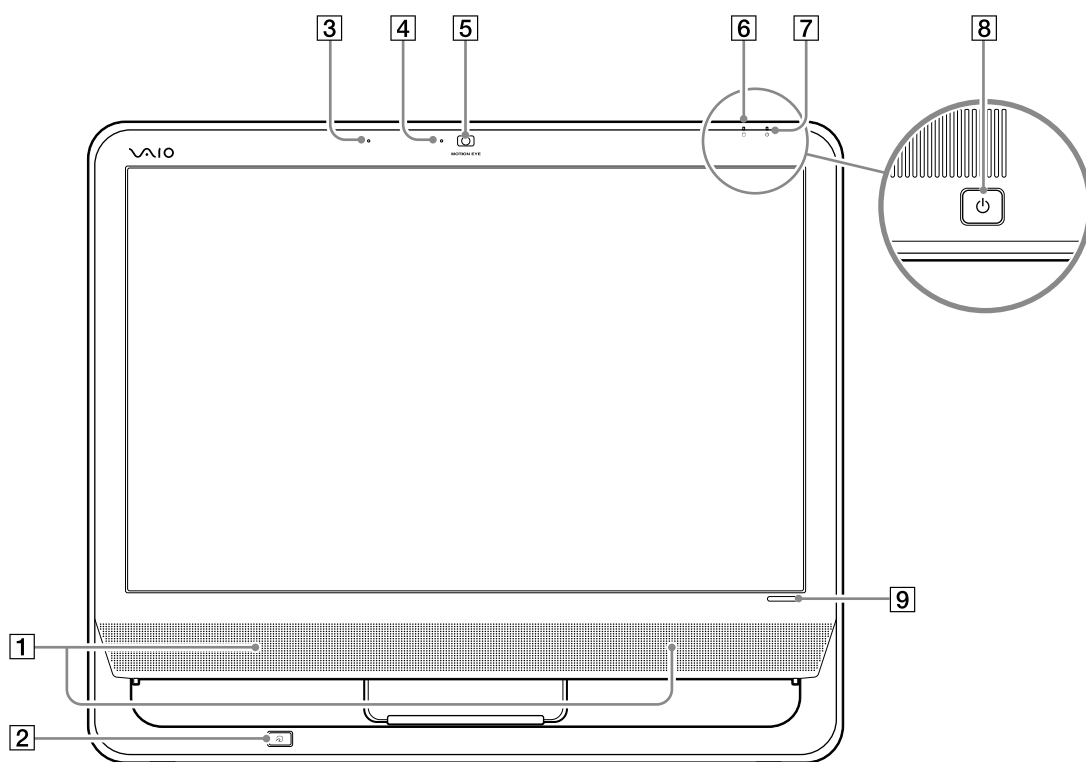
VAIOカスタマーリンク

その他

❑ VAIO オンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社　カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

各部の説明

本体前面

1 **内蔵スピーカー**
音楽CDやDVD再生時に音が出ます。

2 **FeliCaポート（FeliCa対応リーダー／ライター）**
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。
FeliCaについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［FeliCa］をクリックする。）

3 **内蔵マイク**
「Skype」などのソフトウェアを使ってテレビ電話などを楽しむときに利用します。

4 **内蔵カメラ（MOTION EYE）ランプ**
内蔵カメラ（MOTION EYE）起動中に点灯します。

5 **内蔵カメラ（MOTION EYE）**
「Skype」などのソフトウェアを使ってテレビ電話などを楽しむときに利用します。

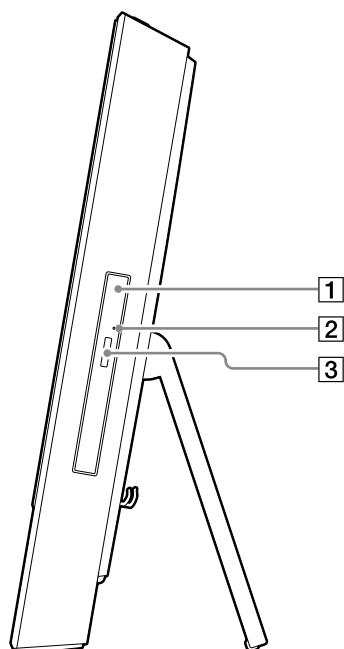
6 **（ディスク）アクセスランプ**
CD ／ DVDなどのディスクやハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

7 **電源ランプ（26ページ）**
本機の電源が入っている間は、緑色に点灯します。
スリープモード時には、オレンジ色に点灯します。

8 **電源ボタン（26ページ）**
本機の電源を入れるときに押します。
本機の動作中にこのボタンを押すと、スリープモードに入ります。（お買い上げ時の設定）

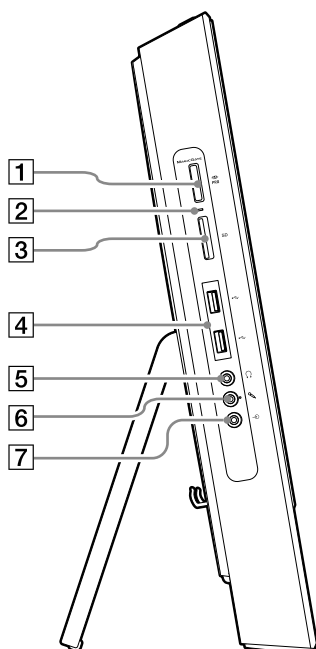
9 **IDラベル**
型名が記載されています。

！ご注意
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です）。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本体右側面

1 **ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)、DVDスーパーマルチ/ BD-ROM一体型ドライブまたはDVDスーパーマルチドライブ**
Blu-ray DiscやCD、DVDのデータを読み込んだり、書き込んだりします(136ページ)。
以降、ドライブと略します。

2 **マニュアルイジェクト穴**
ドライブに挿入されたディスクを強制的に排出させるときに使用します。

3 **イジェクトボタン**
ドライブからディスクを取り出すときに押します。

本体左側面

1 **メモリースティックスロット**
"メモリースティック"のデータを読み込んだり、書き込んだりします。

ヒント
本機のメモリースティックスロットは、メモリースティックデュオ アダプターを使用せずに"メモリースティック デュオ"をそのまま使えます。

2 **メモリーカードアクセスランプ**
"メモリースティック"やSDメモリーカードのデータを読み出したり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

!ご注意
データ読み出し中やデータ書き込み中に"メモリースティック"やSDメモリーカードを取り出さないでください。

3 **SDメモリーカードスロット**
SDメモリーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

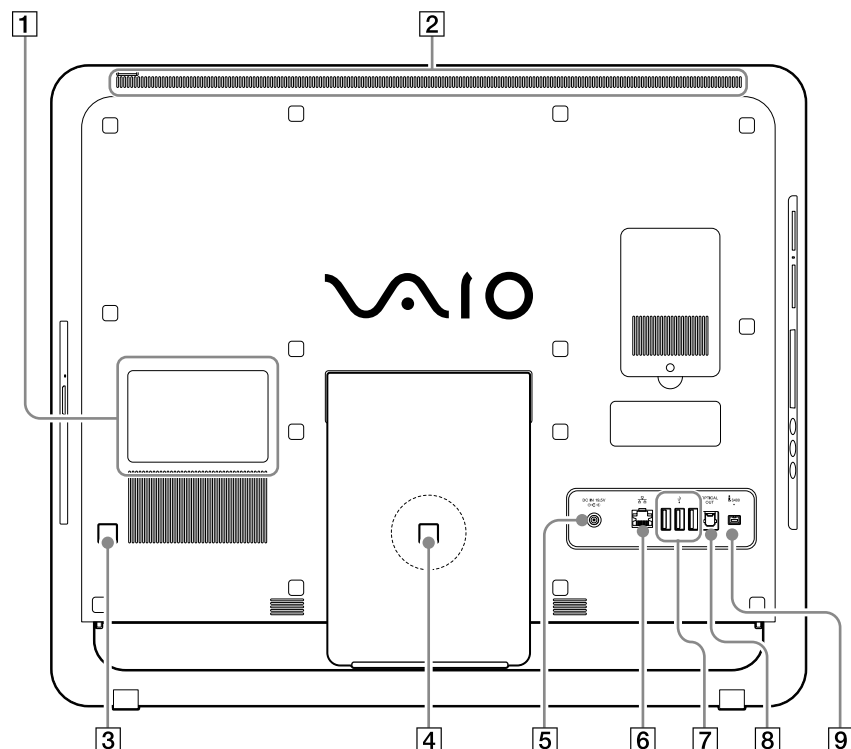
4 **(USB)コネクタ**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

5 **(ヘッドホン出力)コネクタ**
市販のヘッドホンをつなぎます。

6 **(マイク入力)コネクタ**
市販のステレオマイクをつなぎます。

7 **(ライン入力)コネクタ**
オーディオ機器の出力コネクタとつなぎます。

本体後面

1 **機銘板ラベル**
型名などが記載されています。

2 **排気口**
本体内部の熱が排気されます。

!ご注意
使用中に、本体後面の上部排気口の温度が上がることがあります。これらの部分に触れるときは、充分ご注意ください。

3 **マウスフック**
マウスのケーブルを配線するときに使用します。

4 **ACアダプタフック**
ACアダプタのケーブルを配線するときに使用します。

5 **DC IN 19.5Vコネクタ**
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

6 **(LAN)コネクタ(24ページ)**
ネットワーク(LAN)とつなぎます。

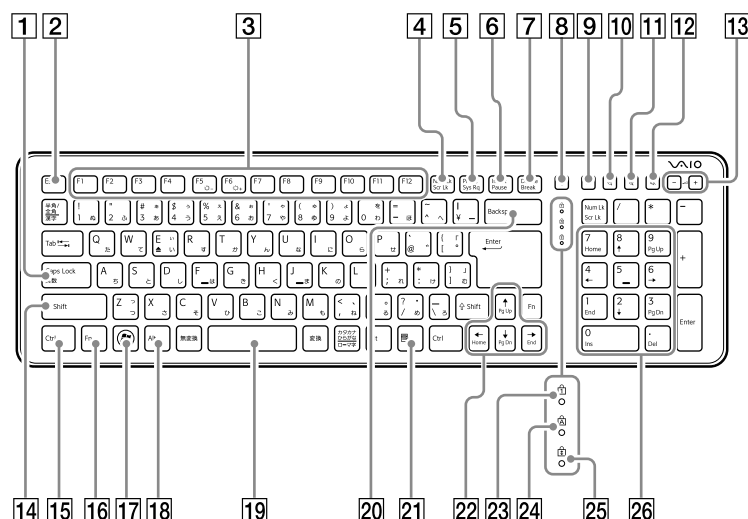
!ご注意
LANコネクタには指定以外のネットワーク(LAN)ケーブルや電話回線を接続しないでください。

7 **(USB)コネクタ**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。
USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

8 **OPTICAL OUT(光デジタル出力)コネクタ**
AVアンプなどのデジタル機器につなぎます。
本機で再生する音楽CDなどの音声を、つないだデジタル機器に出力するときに使います。

9 **S400(i.LINK)コネクタ**
i.LINK対応機器をつなぎます。

キーボードの各部名称

1 **Caps Lock(キャプスロック)キー**
Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、(キャプスロック)ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。
もう一度、Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押すと、(キャプスロック)ランプが消灯し、アルファベットの小文字入力に戻ります。

2 **Esc(エスケープ)キー**
設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 **ファンクションキー**
使用するソフトウェアによって働きが異なります。

4 **Num Lk(ナムロック)キー ／ Scr Lk(スクロールロック)キー**
- Num Lk(ナムロック)キーとして使用する
  テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lk(ナムロック)キーを押すと、(ナムロック)ランプが点灯します。もう一度Num Lk(ナムロック)キーを押すと消灯します。
- Scr Lk(スクロールロック)キーとして使用する
  使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーを押しながらScr Lk(スクロールロック)キーを押すと、(スクロールロック)ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらScr Lk(スクロールロック)キーを押すと消灯します。

5 **Prt Sc(プリントスクリーン)キー**
表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。

6 **Insert(インサート)キー**
文字入力モードを切り換えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り換えることができます。使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。

7 **Delete(デリート)キー**
カーソルの右側の文字を消します。

8 **(スリープ)ボタン**
本機の電源が入っているときに押すと、スリープモードに切り換わります。

9 **Sボタン**
このキーを押すだけで、好みのソフトウェアなどを起動します。

10 **(ズームアウト)ボタン**
画面に表示されている文章、画像、アイコン一覧などを縮小します。

11 **(ズームイン)ボタン**
画面に表示されている文章、画像、アイコン一覧などを拡大します。

12 **(消音)ボタン**
音を消すときに押します。

13 **(音量調節)ボタン**
音量を調節するときに押します。＋側を押すと大きくなり、－側を押すと小さくなります。

14 **Shift(シフト)キー**
文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

⑮ **Ctrl（コントロール）キー**
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

⑯ **Fn（エフエヌ）キー**
キーボード上で青字で表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

⑰ **Windows（ウィンドウズ）キー**
Windowsのスタートメニューが表示されます。

⑱ **Alt（オルト）キー**
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

⑲ **スペースキー**
文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

⑳ **Backspace（バックスペース）キー**
カーソルの左側の文字を消します。

ヒント
Fキー、Jキー、および5キーに突起がついています。

㉑ **アプリケーションキー**
マウスで右ボタンを押したときと同じ働きをします。

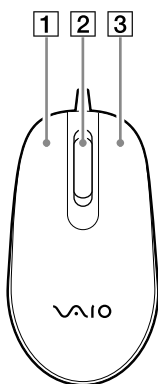
㉒ **矢印キー**
画面上のカーソルを動かします。

㉓ **（ナムロック）ランプ**
Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合に点灯します。

㉔ **（キャプスロック）ランプ**
Caps Lock（キャプスロック）が有効になっている場合に点灯します。

㉕ **（スクロールロック）ランプ**
Scroll Lock（スクロールロック）が有効になっている場合に点灯します。

㉖ **数字キー**
Num Lk（ナムロック）キー ／ Scr Lk（スクロールロック）キーを押し、Num Lock（ナムロック）が有効になっている状態のときは、数字を入力できます。

マウスの各部名称

1 **左ボタン**
文書や画像、ソフトウェアなどを選んだりするときに押します。マウスを使うときは、主にこのボタンを使います。

2 **ホイールボタン**
ウィンドウのスクロールをするときなどに、このボタンを使うと、左ボタンを使うよりも楽に操作できます。
また、ホイールをクリックするとオートスクロール機能を使うことができます。

3 **右ボタン**
文書や画像をコピーするなど、さまざまな操作や設定をすぐに行うためのメニューを表示するときに押します。

オプティカルマウスとは

オプティカルマウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影をオプティカルセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上はもちろんのこと、衣類の上や紙の上でも使用することができます。ただし、次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- 透明な素材（ガラスなど）
- 光を反射する素材（光沢のあるビニールや鏡など）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるマウスパッドや机など

！ご注意

- マウスポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面（机、紙、マウスパッドなど）でマウスを操作してみてください（上記の条件に該当する一部のマウスパッドでは、マウスが正常に動作しない場合があります）。
- オプティカルマウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりが多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近くに置かないでください。故障の原因となることがあります。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006%未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買い上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

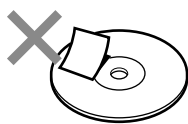
ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

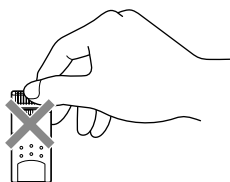
ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力がかからないようご注意ください。
- 挿入するときは、“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”本体を破損するおそれがあります。
- “メモリースティック”と“メモリースティック デュオ”は同時に差し込まないでください。本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”本体が破損するおそれがあります。

“メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をメモリースティック マイクロ アダプターに入れてからお使いください。
- メモリースティック マイクロ アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに“メモリースティック マイクロ”を入れ、さらにそれをメモリースティック デュオ アダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。メモリースティック マイクロ スタンダードサイズ アダプターをお使いください。
- “メモリースティック マイクロ”、メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

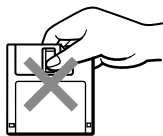
“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器(デジタルスチルカメラやオーディオ機器など)で使用する場合は、

データの記録を行う機器であらかじめフォーマット(初期化)してからご使用ください。
機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

内蔵カメラ(MOTION EYE)についてのご注意

- カメラのレンズ前面のプレートに触らないでください。
- プレートが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入/切にかかわらず、カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- i.S400(i.LINK)コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を撮影するときは、内蔵カメラ(MOTION EYE)から撮影することはできません。

ACアダプタについてのご注意

- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

CD再生/録音についてのご注意

- 本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- 高速読み書き対応のドライブを搭載しているため、ディスクの状態によっては回転音が気になる場合がありますが、機能に問題はありません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
ただし、この音楽専用の面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証できません。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」(日本)に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

録画/録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は、録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。
ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作の保証はいたしかねます。

他のオーディオ機器を接続する場合のご注意

本機に搭載されているSound Realityチップは、可聴領域を越える高い周波数の信号を再生できる能力を持っています。
本機に、外付けのアンプなど、外部のオーディオ機器に接続して、高い周波数の信号を大音量で連続再生した場合、接続された機器によっては故障の原因になったり、正常に音が再生できなくなるなどの問題を起こすことがあります。
市販のCDやDVDディスクなど、一般に音楽として流通している音源では、オーディオ機器に故障を起こすような高い周波数の音が大音量で含まれていることはありません。
本機にプリインストールされているサウンド編集ソフトなどで、意図的に高い周波数の信号が入った音源を作成したり、テスト信号などを再生させる場合はご注意ください。

お手入れ

本機／マウスのお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

!ご注意

ゴミや汚れを拭き取る際、強く拭くとキズがつく恐れがあります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

キーボードのお手入れ

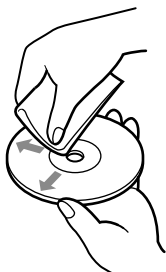
キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
  キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

!ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する
  VAIO データ消去ツールについて詳しくは、82ページをご覧ください。
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンク ホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

×：再生、記録不可

DVDスーパーマルチドライブ搭載モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3*4
DVD-RAM	◎ *5*6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

＊1　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

＊2　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

＊3　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

＊4　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

＊5　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

＊6　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
BD-R ／ RE	◎ *7 *8 *9
BD-ROM	○
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

DVDスーパーマルチ／ BD-ROM一体型ドライブ搭載モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
BD-R ／ RE	○ *8
BD-ROM	○
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

*1 DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*2 DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

*3 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*4 DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*5 DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*6 DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

*7 BD-R Ver.1.1（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）、BD-RE Ver.2.1（1層 25Gバイト、2層 50Gバイト）の書き込みに対応しています。

*8 BD-RE Ver.1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用できません。

*9 BD-R LTH TYPEメディアへの記録には対応していません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
- トレイを引き出した状態でトレイに荷重がかからないようご注意ください。またディスク着脱の際には、荷重がかからないよう、トレイを片手で支えながら作業をおこなってください。

- ブルーレイディスクでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術AACSを採用しています。ブルーレイディスクを継続的にお使いいただくためには、定期的にAACSキーを更新することが必要です。
  AACSキーは録画・編集・再生ソフトウェアが表示するメッセージに従いインターネットに接続することで更新することができます。更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの録画・編集・再生ができなくなる可能性があります。
  なお、著作権保護されていないコンテンツの録画・編集・再生には支障はありません。本機にインストールされて提供されたブルーレイディスク録画・再生ソフトウェアは製品出荷開始後5年間はAACSキーの更新を行うことができます。それ以降の対応につきましては弊社ホームページでご案内します。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ／ BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 本機では、ソフトウェアを用いてブルーレイディスクを再生（デコード）しています。このため、ディスクによっては操作、および機能に制限があったり、CPU性能などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ／ BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 映画などのBD-ROMコンテンツには、地域（リージョンコード）の設定が必要です。選択した地域と異なる設定のディスクは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ／ BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- 本機で作成したBD-R ／ BD-REは、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイレコーダーでは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやマウスの操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。
- ACアダプタの取り付け／取りはずしを行わないでください。

索引

* 別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- MEMORY STICK、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“マジックゲート メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ“ ”はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy(エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- nimocaは、西日本鉄道株式会社の登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard(TM)はMultiMediaCard Associationの商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- TDKはTDK株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

バイオのサポート情報が満載

VAIOカスタマーリンクホームページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

バイオをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは101ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とバイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

ロクゼロ サンサンキュウキュウ
(0120) 60-3399
(フリーダイヤル)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、
海外などからのご利用は、
(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」(106ページ)が24時間ご利用いただけます。

お電話の前に本機の型名をご確認ください。
(保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています。)
お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」(105ページ)をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ
(0466) 38-1410

受付時間
平日：10時～ 18時
(祝日、年末年始は除く)

有料サービス

My VAIO(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/)では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ **VAIO延長保証サービス**

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ **VAIO設置設定サービス**

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート(初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など)を行うサービスです。

■ **VAIOソフトウェアセレクション(ソフトウェア・ダウンロード販売サイト)**

バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、限定のソフトウェアなどを多数取り揃えたソフトウェアのダウンロード販売サイトです。

※ このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク
使いかたのお問い合わせ　電話番号（0120）60-3399
※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4-116-428-**01** (1)